

工事費執行(変更)概要書				部長	次長	課長	課長補佐	課員	課員	審査員	設計者										
執行年度	工事名	H29国補 市営池の台団地(14号、15号棟)長寿命化改修工事																			
29 年度	工事場所	石岡市 池の台10051番 地内																			
設計(変更)概要				施工方法	請負・ 委託																
【建築物概要】				原契約年月日	平成 年 月 日																
建物等名称	構造・階数	延べ面積	備考	工 期	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで 120 日間																
池の台団地14号棟	PC造 4階	1,611.11 m2	16 戸																		
池の台団地15号棟	PC造 4階	581.00 m2	8 戸																		
				請 負 人																	
【工事概要】				費 目	起 工	第 回変更	第 回変更	増 減 (△)													
工種	規格	数量	単位	起 工 額	円			円													
屋上防水改修工事	FRP防水全面トップコート仕様	580.0	m2	請負に付する額	円			円													
外壁塗装改修工事	防水形複層塗材E	1,662.6	m2	工 事 価 格	円			円													
				消費税相当額	円			円													
				請負決定額	円			円													
変更理由				<p>変更工事価格算定基準: 変更工事価格 = 変更積算工事価格 × $\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の委託に付する額}}$ (少数第7位切り捨て6位止め)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">変更積算工事価格</td> <td style="padding: 0 10px;">×</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">請負比率</td> <td style="padding: 0 10px;">=</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">変更積算工事価格</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;">円</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">円</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;">円</td> </tr> </table>								変更積算工事価格	×	請負比率	=	変更積算工事価格	円		円		円
変更積算工事価格	×	請負比率	=	変更積算工事価格																	
円		円		円																	

特記仕様書 (改修工事)

I 工事概要

1. 工事名 H29 国補 市営池の台団地 (14 号, 15 号棟) 長寿命化改修工事
2. 工事場所 石岡市 池の台 10051 地内
3. 敷地面積 14 号 986.94 m²
15 号 516.30 m²
4. 建設工事その他概要 (建物名称, 構造, 階数, 建築面積, 延べ面積, 等)
 - (1) 工事範囲 ※図示
 - (2) 建物概要
(全体)

建物名称	14 号棟	15 号棟	
構造	PC 造 一部 造	PC 造 一部 造	造 一部 造
階数	地上 4 階 地下 階	地上 4 階 地下 階	地上 階 地下 階
建築面積	302.08 m ²	151.16 m ²	m ²
延べ面積	1,611.11 m ²	581.00 m ²	m ²

5. 別途工事

- ・
- ・
- ・

Ⅱ 建築改修工事仕様

1. 共通事項

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下部仕様書等のうち、を付けたものを適用する。
- ・ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
 - ・ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 - ・ 建築工事標準詳細図（平成28年版）（以下、「標準詳細図」という。）
 - ・ 建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）
- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。
- (3) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、番号にのついたものを適用する。
 - 2) 特記事項で※印、◎印、・印のある場合の適用は、下記による。
 - ◎印の付いたものを適用する。
 - ◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。（・印のみの場合は適用しない。）
 - ◎印と☒印の付いた場合は、共に適用する。
 - 3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該表又は当該図を示す。
 - 4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該表又は当該図を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	1 適用区分	<p style="text-align: right;">(1.2.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速 (V0= 34 m/s) 地表面粗度区分 ・ I ・ II ◎III ・ IV ・ 積雪荷重 平成 12 年 5 月 31 日建設省告示第 1455 号における区域 別表 ()
	2 環境への配慮	<p style="text-align: right;">[1.4.1]</p> <p>(1) 建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <p>①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</p> <p>②接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</p> <p>③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。</p> <p>④①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。</p> <p>①建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発生建築材料以外の材料</p> <p>②建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>③建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発生建築材料</p> <p>④建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p>
	3 材料の品質等	<p style="text-align: right;">[1.4.2]</p> <p>(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。</p> <p>(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。</p> <p>①品質及び性能に関する試験データを整備していること。</p> <p>②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</p> <p>③安定的な供給が可能であること。</p> <p>④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。</p> <p>(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引き戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、</p>

章	項目	特記事項																						
1 一般共通事項		<p>フリーアクセスフロア, 移動間仕切, トイレブース, 煙突用成形ライニング材, 天井点検口, 床点検口, グレーチング, 屋上緑化システム, エポキシ樹脂, ポリマーセメントモルタル, 床型枠用鋼製デッキプレート, 鉄骨柱下無収縮モルタル, ルーフドレン, 吸水調整材, 重量シャッター, オーバーヘッドドア, 可動間仕切, トップライト, 鋳鉄製ふた</p> <p>(6) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたりサイクル建設資材については, 茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。</p> <p>国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)により, 県が定める「特定調達品目」について環境負荷を低減できる材料を選定するよう努めるものとする。</p> <p>(7) 上記の条件を満たすものが市産材で確保できる場合には, その優先使用に努めるものとする。なお, 市産材とは, 「石岡市内で生産されたもの, 又は加工し製品化されたもの」とする。</p>																						
	4 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>室内空気中のホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, エチルベンゼン, スチレン(学校施設については, パラジクロロベンゼンについても対象とする。)の濃度を測定し, 報告すること。</p> <p>測定は, 厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した, ホルムアルデヒドについては, ジニトロフェニルヒドラジン(DNPH)誘導体化固相吸着/溶媒抽出-高速液体クロマトグラフ法により, その他については, 固相吸着/溶媒抽出-ガスクロマトグラフ/質量分析法により行い, パッシブサンプラー型採取方法にて採取すること。</p> <p>測定対象箇所は, 平成15年4月1日通知「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」に準じ, 下表の数を標準とする。(指針値は, 付記事項の6を参照)</p> <table border="1" data-bbox="529 1041 1473 1115"> <thead> <tr> <th>室の床面積A(m²)</th> <th>A≤50</th> <th>50<A≤200</th> <th>200<A≤500</th> <th>500<A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定箇所数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内空気中の化学物質の濃度測定室箇所表</p> <table border="1" data-bbox="529 1146 1329 1294"> <thead> <tr> <th>室名(測定対象室)</th> <th>床面積</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>着工前の測定 ・ 行う</p>	室の床面積A(m ²)	A≤50	50<A≤200	200<A≤500	500<A	測定箇所数	1	2	3	4	室名(測定対象室)	床面積	測定箇所数									
室の床面積A(m ²)	A≤50	50<A≤200	200<A≤500	500<A																				
測定箇所数	1	2	3	4																				
室名(測定対象室)	床面積	測定箇所数																						
5	埋設配管・配線および鉄筋調査	<p>あと施工アンカー工事</p> <p>8章〈あと施工アンカー〉による</p> <p>コア抜き, はつり工事等</p> <p>※既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 探査機(電磁波レーダー法又は電磁誘導法)による探査 配管・配線等の位置の墨出を行う 範囲 ※図示 放射線透過試験 <p>労働安全衛生法, 「電離放射線障害防止規制」(昭和47年労働省令第41号)等に定めるところによるほか, 次による。</p> <ol style="list-style-type: none"> 作業主任者は, エックス線作業主任者の資格を有するものとし, 資格を証明する資料を監督員に提出する 放射線照射量は最小限のものとし, 照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また, 作業員以外の立入禁止措置を講ずる。 露出時間は, コンクリートの厚さ等により, 適宜調整する。 付近にフィルム, 磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 躯体の墨出しは, 表裏でズレがないように措置を講ずる。 <p>撮影枚数 枚</p> <p>フィルムサイズ</p> <p>コンクリート厚さ cm</p>																						

章	項目	特記事項																				
1 一般共通事項	6 リサイクルの優先順位	(1)発生抑制の徹底 (2)再使用の徹底 (3)再資源化の徹底 (4)適正処分の徹底 (再資源化に係る作成書類は、付記事項の5を参照)																				
	7 発生材の処理等	・発注者に引渡しを要するもの ※なし ・あり 処理方法 () ・特別管理産業廃棄物 ※なし ・あり 処理方法 () ・現場での再利用を図るもの ※なし ・あり 品目 ()																				
	8 下請人通知	建設工事請負契約書に基づく下請人通知書を、市と請負契約を締結した日から原則として30日以内、その後の下請け契約に係るものは、契約締結の日から10日以内に提出するものとする。																				
	9 技能士	(1.5.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング 防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ◎FRP 防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>・左官作業 ・タイル張り作業 ◎建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・壁装作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>◎建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック ・ALCパル工事</td> <td>・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパル工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table>	適用工事種別	技能検定作業	防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング 防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ◎FRP 防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業	外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ◎建築塗装作業	建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・壁装作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業	塗装改修工事	◎建築塗装作業	耐震改修工事	・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業	コンクリートブロック ・ALCパル工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパル工事作業	石工事	・石張り作業	植栽工事	・造園工事作業
	適用工事種別	技能検定作業																				
	防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング 防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ◎FRP 防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業																				
	外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ◎建築塗装作業																				
	建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																				
	内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・壁装作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業																				
	塗装改修工事	◎建築塗装作業																				
	耐震改修工事	・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業																				
	コンクリートブロック ・ALCパル工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパル工事作業																				
	石工事	・石張り作業																				
	植栽工事	・造園工事作業																				
10 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																					
11 既存部分との取合い	工事中に取合部その他本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は、原型に復する。																					
12 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。																					
13 完成図等	(1.7.1~3) (表1.7.1) ※完成図 ※作成する ・作成しない 提出するもの ・原図 ◎製本 1部 ※CADデータ (JWW形式) サイズ ・A1 ◎A2 ・A3 ※CD-R 完成図 (JWW形式)、完成写真、着工前写真、工事写真 (JPEG形式) を収録したもの ・維持保全に関する資料 (部数 ※1部)																					
14 引渡物	※鍵は1カ所につき、3個を1組とし、プラスチック札に室名を記入して提出する。 ※マスター鍵は、1組3個とし、木製及び金属製建具共通とする。 ※スチール製キーボックス																					

章	項目	特記事項																				
1 一般共通事項	15 提出書類	<p>※写真</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>内容</th> <th>枚数</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>工事写真</td> <td>適宜</td> <td>1</td> <td>電子納品</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>完成写真, 着工前写真(全景)</td> <td>各2枚以上</td> <td>1</td> <td>電子納品</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>完成写真(・データ共)</td> <td>適宜</td> <td>2</td> <td>アルバム(キャビネ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>完成写真(アルバム)の撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影実績のある業者とする)</p> <p>◎規格品証明書(原品証明書, 同等品試験証明書, 試験成績書等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス圧接作業員技量資格証明書(写し) ・ガス圧接試験報告書 ・コンクリート強度試験報告書 ・杭打結果報告書 ・溶接工技量証明書(表・裏とも写し) <p>◎防水保証書(9-1. 2. 3. 4は10年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート配合計画書 <p>◎工事实績情報の登録内容確認書の写し</p> <p>※火災保険等に加入したことを証明できる書類</p> <p>◎建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書の写し</p> <p>※施工体制台帳の写し</p> <p>※施工体系図の写し</p> <p>◎産業廃棄物処理関係書類(産業廃棄物運搬委託契約書及び許可書の写し, 産業廃棄物処理委託契約書及び許可書の写し等)</p> <p>◎産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写し</p> <p>◎内装材(下地を含む)にVOC材料を使用した場合は、安全データシート(SDS)及びホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, エチルベンゼン, スチレン, 有機リン系の含有率のデータシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定報告書 <p>※建設副産物実態調査に関するデータ保存 CD 及び出力調査票</p> <p>※その他 監督員が必要と認め、指示した書類及び部数</p>	適用	内容	枚数	部数	備考	※	工事写真	適宜	1	電子納品	※	完成写真, 着工前写真(全景)	各2枚以上	1	電子納品	・	完成写真(・データ共)	適宜	2	アルバム(キャビネ)
	適用	内容	枚数	部数	備考																	
※	工事写真	適宜	1	電子納品																		
※	完成写真, 着工前写真(全景)	各2枚以上	1	電子納品																		
・	完成写真(・データ共)	適宜	2	アルバム(キャビネ)																		
16 埋蔵文化財	<p>※文化財保護法に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掘削作業に際しては、工事立会、試掘確認調査等を要する。施工にあたっては、あらかじめ、工事日程、掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上、監督員、施設管理担当、教育庁文化課担当と協議を行うこと。 ・掘削作業に際しては、慎重に施工のこと。施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告すること。 																					

章	項目	特記事項																																
2 仮設工事	1 足場	[2. 2. 1] ◎「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・内部足場 ・設置する (※脚立、足場板等) ・設置しない ◎外部足場 ◎設置する ・設置しない ・防護シート ・設置する ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種) [表 2. 2. 1] C種：利用可能なエレベーター () D種：利用可能な階段 ()																																
	2 既存部分の養生	[2. 3. 1] 1) 養生の方法等 ◎既存部分 養生の方法 (※ビニルシート等 ・合板等) ◎既存家具・既存設備等 養生の方法 (※ビニルシート等) ・既存ブラインド、カーテン等 養生の方法 (・ビニルシート等) 保管場所 (・図示) ◎備品、机、ロッカー等の移動 (・図示) 2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合には養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																																
	3 監督員事務所	[2. 4. 1] ※設ける 規模： m ³ 程度 仕上げの程度： 程度 備え付ける備品： ・机 脚 ・椅子 脚 ・ロッカー 台 ・書棚 台 ・ホワイトボード ・製図板 ・掛時計 ・寒暖計 ・ゴム長靴 ・雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・安全帯 ・受託者加入電話の子機 ・暖冷房機 ・消火器 ・湯沸器 ・掃除具 ・その他 () ◎設けない																																
	4 工事用水	構内既存の施設 ・なし ※あり (◎利用できる (有償) ※利用できない)																																
	5 工事用電力	構内既存の施設 ・なし ※あり (◎利用できる (有償) ※利用できない)																																
	6 仮設間仕切り	[2. 3. 2] [表 2. 3. 1] 1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 ・ 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ(厚さ mm)</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・木</td> <td>・せっこうボード(9.5)</td> <td>・無し</td> <td>※り</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・軽量鉄骨</td> <td>・合板(9.0)</td> <td>・片面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管</td> <td>防災シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 充てん材：グラスウール 32K(厚：50mm 以上) 3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・無し ・片面</td> <td>※有り ・無し</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 充てん材：グラスウール 32K(厚：50mm 以上)	種別	下地	仕上げ(厚さ mm)	塗装	充填材	・A種	・木	・せっこうボード(9.5)	・無し	※り	・B種	・軽量鉄骨	・合板(9.0)	・片面		※C種	単管	防災シート			材質	仕上げ	塗装	充填材	※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	※有り ・無し	・	・		
	種別	下地	仕上げ(厚さ mm)	塗装	充填材																													
・A種	・木	・せっこうボード(9.5)	・無し	※り																														
・B種	・軽量鉄骨	・合板(9.0)	・片面																															
※C種	単管	防災シート																																
材質	仕上げ	塗装	充填材																															
※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	※有り ・無し																															
・	・																																	
7 工事看板	[2. 4. 1] ※設置する 設置の場所 (※図示) 記載事項 (※工事番号 ※工事名称 ※発注者 ※設計者 ※監理者 ※工期 ※施工者) 大きさ (※1800mm×900mm 程度) ・設置しない																																	

章	項目	特記事項																					
3 防水改修工事	1 施工数量調査	[1. 5. 2, 3] 調査範囲 ・ 図示の範囲 ・ 調査方法 ・ 図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ 調査報告書 提出部数 ・ 2部 ・																					
	2 降雨等に対する養生方法（とい共）	[3. 1. 3] ※改修標準仕様書 3. 1. 3(e) (1)～(3)による ・																					
	3 既存防水の処理	[3. 2. 3, 4, 6] 既存保護層の撤去 ◎行う（範囲 ・ 図示 ◎既存屋根面積の 2/3 程度 ） ・ 行わない （アスファルトシングル葺屋根） 既存防水層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ ） ・ 行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装撤去 ・ 行う（ ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X ） ・ 行わない																					
	4 既存防水層の下地補修	[3. 2. 6] 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示 ・ POS 工法及び POSI 工法（機械式固定法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び措置 ※改修標準仕様書 3. 2. 6(d) (3) (vii)①～③による ・																					
	5 アスファルト防水	[3. 3. 2～5] 屋根保護防水 防水層の種類 <table border="1" data-bbox="518 907 1476 1534"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P2A</td> <td>・ A-1 ※A-2 ・ A-3</td> <td></td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> <td>※ホ[®] リスレンフィルム 厚さ 0. 15mm 以上 ・</td> <td rowspan="5"> ・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え ・ れんが押え </td> </tr> <tr> <td>・ P1B</td> <td>・ B-1 ※B-2 ・ B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2AI</td> <td>・ AI-1 ※AI-2 ・ AI-3</td> <td></td> <td rowspan="2"> (材質) ※JIS A 9521 による押出法ホ[®] リスレンフォーム断熱材 3 種 bA(スキン層付) 又は JIS A 9511 による A 種押出法ホ[®] リスレンフォーム保温材の保温板 3 種 b (スキンあり) ・ (厚さ) ・ 25mm ・ </td> </tr> <tr> <td>・ P1BI ・ T1BI</td> <td>・ BI-1 ※BI-2 ・ BI-3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3. 3. 3 から表 3. 3. 9 による ・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3. 3. 3 から表 3. 3. 9 による ・ 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 ・ 床タイル貼り ※水下 60mm 以上 ・ ・ 乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成型しオートクレーブ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・ P2A	・ A-1 ※A-2 ・ A-3		/	※ホ [®] リスレンフィルム 厚さ 0. 15mm 以上 ・	・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え ・ れんが押え	・ P1B	・ B-1 ※B-2 ・ B-3		・ P2AI	・ AI-1 ※AI-2 ・ AI-3		(材質) ※JIS A 9521 による押出法ホ [®] リスレンフォーム断熱材 3 種 bA(スキン層付) 又は JIS A 9511 による A 種押出法ホ [®] リスレンフォーム保温材の保温板 3 種 b (スキンあり) ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・ P1BI ・ T1BI	・ BI-1 ※BI-2 ・ BI-3
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																		
・ P2A	・ A-1 ※A-2 ・ A-3		/	※ホ [®] リスレンフィルム 厚さ 0. 15mm 以上 ・	・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え ・ れんが押え																		
・ P1B	・ B-1 ※B-2 ・ B-3																						
・ P2AI	・ AI-1 ※AI-2 ・ AI-3		(材質) ※JIS A 9521 による押出法ホ [®] リスレンフォーム断熱材 3 種 bA(スキン層付) 又は JIS A 9511 による A 種押出法ホ [®] リスレンフォーム保温材の保温板 3 種 b (スキンあり) ・ (厚さ) ・ 25mm ・																				
・ P1BI ・ T1BI	・ BI-1 ※BI-2 ・ BI-3																						

章	項目	特記事項							
3 防水改修工事	5 アスファルト防水	屋根露出防水 防水層の種別							
		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射 反射率 防水の 適用	備考
		・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4		/	・製造所 の指定 による	・製造所 の指定 による	・	
		・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4		/	・製造所 の指定 による	・製造所 の指定 による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない
・PODI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2		(材質)※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム 断熱材 2 種 1 号若し くは 2 号で透湿係数 を除く規格に適合す るもの又は JIS A 9511 による A 種硬質 ウレタンフォーム保温材の保 温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く 規格に適合するもの ・ (厚さ)・25mm ・	・製造所 の指定 による	・製造所 の指定 による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレ ・設ける ・設けない		
脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトフイグ 類製造所の指定による ・脱気装置の種類 ， 設置数量 個/m ² 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の， ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張 りじまい位置 ※図示 ・									
屋内防水									
工法	種別	施工箇所	備考						
・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2		保護層 ・設ける ・設けない						
押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度 ・									
屋根排水溝 ※図示 ・									

章	項目	特記事項					
3 防水改修工事	6 改質アスファルトシート防水	[3.4.2.3]					
		防水層の種類別					
		仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考		
工法	種別	施工箇所	断熱材				種類
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		/	・製造所の指定による	・製造所の指定による	・	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		/	・製造所の指定による	・製造所の指定による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリル ・設ける ・設けない
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		/	・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける ・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ ASI-T1 ・ ASI-J1		(材質)※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの ・ (厚さ)・25mm ・	・製造所の指定による	・製造所の指定による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリル ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない
<p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3.4.1 から表 3.4.3 による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3.4.1 から表 3.4.3 による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3.4.1 から表 3.4.3 による</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指定による ・脱気装置の種類 ， 設置数量 個/m²</p> <p>押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による</p>							

t

章	項目	特記事項							
3 防水改修工事	7 合成分子系ルーフィングシート防水	[3.5.2~4] [表3.5.1~3]							
		防水層の種類別							
		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射 反射率 防水の 適用	備考
						種類	使用量		
		・POS ・S4S	・S-F1			・製造所の 指定による	・製造所の 指定による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリ ・設ける ・設けない
			・S-F2					・	
			・S-M1			・製造所の 指定による	・製造所の 指定による	・	
			・S-M2					・	
			・S-M3					・	
		・S3S	・S-F1			・製造所の 指定による	・製造所の 指定による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2					・			
・M4S	・S-M1			・製造所の 指定による	・製造所の 指定による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない		
	・S-M2								
	・S-M3								
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1		(材質) ※改修標準仕様 書3.5.2(c)(3) (ii)による ・ (厚さ) ・25mm	・製造所の 指定による	・製造所の 指定による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドリ ・設ける ・設けない		
	・SI-F2					・			
	・SI-M1		(材質) ※改修標準仕様 書3.5.2(c)(3) (i)による ・ (厚さ) ・25mm	・製造所の 指定による	・製造所の 指定による	・			
	・SI-M2					・			
屋内防水									
防水層の種類別									
種別	施工 箇所	保護層				立上り部の保護 モルタル塗り厚さ			
		平場のモルタル塗り			塗 り 厚 さ				
		塗 り 厚 さ	床塗り工法	下地モルタル塗り					
・S-C1	・	・	※標準仕様書 15.2.5(b)(2) 及び(3)に準ず る ・	※標準仕様書 15.2.5(c)(1)に準 ずる ・	※7mm以下 ・				
屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ									
ルーフィングシートの種類及び厚さ									
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による									
絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート									
固定金具の材質及び寸法形状									
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板, ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板									
脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による									
・脱気装置の種類, 設置数量 個/m ²									

章	項目	特記事項																																					
3 防水改修工事	7 合成分子系ルーフィングシート防水	<p>既存防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う（・図示） ・行わない <p>PCコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1, SI-F1, S-C1の場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う（・図示） ・行わない <p>ALCパネル下地の入隅部の増張り（種別S-C1の場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う（・図示） ・行わない <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法</p>																																					
	8 塗膜防水	<p style="text-align: right;">[3.6.2, 3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射 反射率 防水の 適用</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POX</td> <td>※X-1 ・X-2 ・</td> <td></td> <td>・ ・製造所 の指定に よる</td> <td>・ ・製造所 の指定に よる</td> <td>・</td> <td>脱気装置 ・設ける 改修用ドリ ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td>・X-1 ※X-2 ・</td> <td></td> <td>・ ・製造所 の指定に よる</td> <td>・ ・製造所 の指定に よる</td> <td>・</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P1Y</td> <td>※Y-2 ・</td> <td></td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2 ・</td> <td></td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の指定による ・脱気装置の種類 , 設置数量 個/m²</p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 防水の 適用	備考	種類	使用量	・POX	※X-1 ・X-2 ・		・ ・製造所 の指定に よる	・ ・製造所 の指定に よる	・	脱気装置 ・設ける 改修用ドリ ・設ける ・設けない	・L4X	・X-1 ※X-2 ・		・ ・製造所 の指定に よる	・ ・製造所 の指定に よる	・	脱気装置 ・設ける ・設けない	・P1Y	※Y-2 ・		/	/	/	保護層 ・設ける ・設けない	・P2Y	※Y-2 ・		/	/	/	保護層 ・設ける ・設けない
	工法	種別				施工箇所	仕上塗料			高日射 反射率 防水の 適用	備考																												
種類			使用量																																				
・POX	※X-1 ・X-2 ・		・ ・製造所 の指定に よる	・ ・製造所 の指定に よる	・	脱気装置 ・設ける 改修用ドリ ・設ける ・設けない																																	
・L4X	・X-1 ※X-2 ・		・ ・製造所 の指定に よる	・ ・製造所 の指定に よる	・	脱気装置 ・設ける ・設けない																																	
・P1Y	※Y-2 ・		/	/	/	保護層 ・設ける ・設けない																																	
・P2Y	※Y-2 ・		/	/	/	保護層 ・設ける ・設けない																																	
9 シーリング	<p style="text-align: right;">[3.7.2, 3, 7, 8]</p> <p>シーリング改修工法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーリング充填工法 ◎シーリング再充填工法 <ul style="list-style-type: none"> ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない <p>シーリング材の種類, 施工箇所 ※下記以外は, 改修標準仕様書表 3.7.1 による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PC ジョイント部等</td> <td>PU-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書 3.7.3(a) (1)～(3)による</p>	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	PC ジョイント部等	PU-2																																		
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																						
PC ジョイント部等	PU-2																																						
10 とい	<p style="text-align: right;">[3.8.2, 3]</p> <p>といの材種 ※配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・</p> <p>ルーフトレン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ろく屋根用 (◎縦型 ・横型)</td> <td>屋根軒先樋部</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>既製のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表 3.8.5 による</p> <p>たてどい受金物の取付け ※図示</p> <p>ルーフトレンの取付け ※水はけがよく, 床面より下げ, 周囲の隙間にモルタルを充填</p>	種別	施工箇所	◎ろく屋根用 (◎縦型 ・横型)	屋根軒先樋部	・バルコニー用		・バルコニー中継用																															
種別	施工箇所																																						
◎ろく屋根用 (◎縦型 ・横型)	屋根軒先樋部																																						
・バルコニー用																																							
・バルコニー中継用																																							

章	項 目	特 記 事 項
3 防水改修工事	11 アルミニウム製笠木	<p style="text-align: right;">[3.9.2.3]</p> <p>種類 ・オープン形式（・押出 250 形 ・押出 300 形 ・押出 350 形） ・板材折曲げ形（・オープン形式 ・シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ・ mm）</p> <p>表面処理 種別（ ）種 皮膜等の種類（※標準仕様書表 14.2.1 による ・ ） 着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）</p> <p>既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） ・行わない</p> <p>下地補修の工法 ※図示 ・</p> <p>板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・</p> <p>笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法</p>

章	項目	特記事項															
4 外壁改修工事	1 施工数量調査	<p>調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示の範囲 [1.5.2.3]</p> <p>調査時期 ・ 外壁仕上げ等除去前 ・ 外壁仕上げ等除去後</p> <p>調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ 調査報告書の部数 ・ 2部 ・</p>															
	2 可とう性エポキシ樹脂	<p>[4.2.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能</th> <th>常温物性</th> <th>低温性</th> <th>加熱変化</th> <th>引張接着性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引張強さ</td> <td>1.0N/mm²以上</td> <td>1.0N/mm²以上</td> <td>1.0N/mm²以上</td> <td>最大引張応力1.0N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>伸び</td> <td>30.0%以上</td> <td>30.0%以上</td> <td>30.0%以上</td> <td>破断時の伸び10%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以内 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下</p> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p>	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強さ	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	最大引張応力1.0N/mm ² 以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び10%以上
	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性												
	引張強さ	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	最大引張応力1.0N/mm ² 以上												
	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び10%以上												
3 パテ状エポキシ樹脂	<p>[4.2.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>初期硬化性(標準)</th> <th>接着強さ(標準)</th> <th>圧縮強さ</th> <th>曲げ強さ</th> <th>硬化収縮率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.0N/mm²以上</td> <td>6.0N/mm²以上</td> <td>50.0N/mm²以上</td> <td>30.0N/mm²</td> <td>3.0(%)以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p>	初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	2.0N/mm ² 以上	6.0N/mm ² 以上	50.0N/mm ² 以上	30.0N/mm ²	3.0(%)以下						
初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率													
2.0N/mm ² 以上	6.0N/mm ² 以上	50.0N/mm ² 以上	30.0N/mm ²	3.0(%)以下													
4 エポキシ樹脂モルタル	<p>[4.2.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接着強さ</th> <th>圧縮強さ</th> <th>曲げ強さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.0N/mm²以上</td> <td>20.0N/mm²以上</td> <td>10.0N/mm²以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入が無いこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。 e. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6ヶ月間保存しても上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p>	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上										
接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ															
1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上															
5 ポリマーセメントモルタル	<p>[4.2.2]</p> <p>ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">曲げ強さ(N/mm²)</th> <th rowspan="2">圧縮強さ(N/mm²)</th> <th colspan="2">接着強さ(N/mm²)</th> <th rowspan="2">低温時</th> </tr> <tr> <th>標準時</th> <th>湿潤時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.0以上</td> <td>20.0以上</td> <td>1.0以上</td> <td>0.8以上</td> <td>0.5以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害とみとめられる異物の混入がないこと。</p>	曲げ強さ(N/mm ²)	圧縮強さ(N/mm ²)	接着強さ(N/mm ²)		低温時	標準時	湿潤時	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上				
曲げ強さ(N/mm ²)	圧縮強さ(N/mm ²)			接着強さ(N/mm ²)			低温時										
		標準時	湿潤時														
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上													

章	項目	特記事項													
4 外壁改修工事	6 ポリマーセメント スラリー	[4. 2. 2]													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮)</th> <th>引張接着性 (材齢 28 日)</th> <th>曲げ性能 (材齢 28 日)</th> <th>吸水性 (72 時間)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 以上</td> <td>3%</td> <td>0. 5N/mm² 以上</td> <td>5. 0N/mm² 以上</td> <td>15%以下</td> <td>5. 0N/mm² 以上</td> </tr> </tbody> </table>	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢 28 日)	曲げ性能 (材齢 28 日)	吸水性 (72 時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3 以上	3%	0. 5N/mm ² 以上	5. 0N/mm ² 以上	15%以下	5. 0N/mm ² 以上	
	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢 28 日)	曲げ性能 (材齢 28 日)	吸水性 (72 時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)									
	3 以上	3%	0. 5N/mm ² 以上	5. 0N/mm ² 以上	15%以下	5. 0N/mm ² 以上									
保水係数 0. 35~0. 55 粘調系数 0. 50~1. 00															
7 既製調合モルタル	[4. 2. 2]														
	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付けモルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保水率 (%)</th> <th rowspan="2">単位容積 質量 (kg/l)</th> <th colspan="2">接着強さ (N/mm²)</th> <th rowspan="2">長さ変化率 (%)</th> <th rowspan="2">曲げ強さ (N/mm²)</th> </tr> <tr> <th>標準時</th> <th>温冷繰り 返し後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70. 0 以上</td> <td>1. 80 程度</td> <td>0. 60 以上</td> <td>0. 40 以上</td> <td>0. 20 以下</td> <td>4. 0 以上</td> </tr> </tbody> </table>	保水率 (%)	単位容積 質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm ²)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)	標準時	温冷繰り 返し後	70. 0 以上	1. 80 程度	0. 60 以上	0. 40 以上	0. 20 以下	4. 0 以上
保水率 (%)	単位容積 質量 (kg/l)			接着強さ (N/mm ²)				長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)						
		標準時	温冷繰り 返し後												
70. 0 以上	1. 80 程度	0. 60 以上	0. 40 以上	0. 20 以下	4. 0 以上										

章	項 目	特 記 事 項																									
4 の 1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	<p style="text-align: right;">[4.1.4] [4.2.2] [4.3.4~6]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂注入工法 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">工法の種類</th> <th style="width: 30%;">ひび割れ幅(mm)</th> <th style="width: 20%;">注入口間隔(mm)</th> <th style="width: 20%;">注入量(ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">※自動式低圧球 杉樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.5未満 低</td> <td>※200~300</td> <td>・130</td> </tr> <tr> <td>0.5以上~1.0以下 中</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・手動式球 杉樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満 低</td> <td>・50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>0.3以上~0.5未満 低</td> <td>・100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・機械式球 杉樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0以下 中</td> <td>・150~250</td> <td>・130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形</p> <p>コア抜き検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>抜き個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き部の補修方法 ※図示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Uカットシーリング材充填工法 <ul style="list-style-type: none"> ・シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ・シーリング工法 <ul style="list-style-type: none"> ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧球 杉樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満 低	※200~300	・130	0.5以上~1.0以下 中		・	・手動式球 杉樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 低	・50~100	・40	0.3以上~0.5未満 低	・100~200	・70	・機械式球 杉樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	・150~250	・130			・
	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																							
※自動式低圧球 杉樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満 低	※200~300	・130																								
	0.5以上~1.0以下 中		・																								
・手動式球 杉樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 低	・50~100	・40																								
	0.3以上~0.5未満 低	・100~200	・70																								
・機械式球 杉樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	・150~250	・130																								
			・																								
2 欠損部改修工法	<p style="text-align: right;">[4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※充填工法 <ul style="list-style-type: none"> ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・ 																										

章	項目	特記事項																																																					
4 の 4 塗り仕上げ外壁	1 所要量の確認	[4. 6. 2] [表 4. 6. 1] 工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書表 4. 6. 1による																																																					
	2 既存塗膜等の除去、 下地処理及び下地調整	[4. 6. 3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)</td> <td>・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法 加圧力※30MPa 程度以上 ・</td> <td>※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)</td> <td>・欠損部 改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※図示 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎水洗い工法</td> <td>※図示 ・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法	・高圧水洗工法 加圧力※30MPa 程度以上 ・	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	・欠損部 改修工法	・塗膜はく離剤工法	※図示 ・		◎水洗い工法	※図示 ・																																							
	工法	処理範囲	下地面の補修																																																				
	・サンダー工法	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法																																																				
	・高圧水洗工法 加圧力※30MPa 程度以上 ・	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)	・欠損部 改修工法																																																				
・塗膜はく離剤工法	※図示 ・																																																						
◎水洗い工法	※図示 ・																																																						
3 下地調整塗材	[4. 6. 3] ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル																																																						
4 仕上げ塗材仕上げ	[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 6. 5] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 新規仕上塗材の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">・薄付け 仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> <td rowspan="6">・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ロー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・厚付け仕上 塗材</td> <td>・外装薄塗材 C</td> <td>・</td> <td rowspan="3">・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">◎複層仕上 塗材</td> <td>・複層塗材 CE</td> <td>・</td> <td rowspan="8">※ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 耐候性 ※耐候形 1種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ・アクリル系 ※フッ素系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ※適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>◎防水形複層塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RS</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形 改修用 仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 E</td> <td>・</td> <td rowspan="3">・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 耐候性 ※耐候形 3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ロー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく	・可とう形外装薄塗材 Si	・	・外装薄塗材 E	・	・可とう形外装薄塗材 E	・	・防水形外装薄塗材 E	・	・外装薄塗材 S	・	・厚付け仕上 塗材	・外装薄塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない	・外装薄塗材 Si	・	・外装薄塗材 E	・	◎複層仕上 塗材	・複層塗材 CE	・	※ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 耐候性 ※耐候形 1種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ・アクリル系 ※フッ素系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ※適用する ・適用しない	・可とう形複層塗材 CE	・	・複層塗材 Si	・	・複層塗材 E	・	・複層塗材 RE	・	・防水形複層塗材 CE	・	◎防水形複層塗材 E	・	・防水形複層塗材 RE	・	・防水形複層塗材 RS	・	・可とう形 改修用 仕上塗材	・可とう形改修塗材 E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 耐候性 ※耐候形 3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない	・可とう形改修塗材 RE	・	・可とう形改修塗材 CE	・
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																				
・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ロー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく																																																				
	・可とう形外装薄塗材 Si	・																																																					
	・外装薄塗材 E	・																																																					
	・可とう形外装薄塗材 E	・																																																					
	・防水形外装薄塗材 E	・																																																					
	・外装薄塗材 S	・																																																					
・厚付け仕上 塗材	・外装薄塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない																																																				
	・外装薄塗材 Si	・																																																					
	・外装薄塗材 E	・																																																					
◎複層仕上 塗材	・複層塗材 CE	・	※ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 耐候性 ※耐候形 1種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ・アクリル系 ※フッ素系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ※適用する ・適用しない																																																				
	・可とう形複層塗材 CE	・																																																					
	・複層塗材 Si	・																																																					
	・複層塗材 E	・																																																					
	・複層塗材 RE	・																																																					
	・防水形複層塗材 CE	・																																																					
	◎防水形複層塗材 E	・																																																					
	・防水形複層塗材 RE	・																																																					
・防水形複層塗材 RS	・																																																						
・可とう形 改修用 仕上塗材	・可とう形改修塗材 E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 耐候性 ※耐候形 3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない																																																				
	・可とう形改修塗材 RE	・																																																					
	・可とう形改修塗材 CE	・																																																					
5 マスチック塗材塗り	[4. 1. 5] [4. 7. 2] [表 4. 7. 1] 種別 ・A種 ・B種																																																						

章	項目	特記事項																																							
7 塗装改修工事	1 材料	[7.1.3] 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 防火材料 ※屋内の壁, 天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)																																							
	2 下地調整	[7.2.1~7] 塗替え RB 種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の 30% 図示 下地調整 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種別</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※RB 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※RB 種</td> <td>RA 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>※RB 種</td> <td>RA 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>※RB 種</td> <td>RC 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>珪藻土, プラスター面</td> <td>※RB 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(OP 以外), ALCパネル面</td> <td>※RB 種</td> <td>RA 種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(OP), 押出成形乾式パネル面</td> <td>・</td> <td>RA 種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及び その他ボード面</td> <td>※RB 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・	鉄鋼面	※RB 種	RA 種		亜鉛めっき面	※RB 種	RA 種		亜鉛めっき面(鋼製建具)	※RB 種	RC 種		珪藻土, プラスター面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・行う ・行わない	コンクリート面(OP 以外), ALCパネル面	※RB 種	RA 種	・行う ・行わない	コンクリート面(OP), 押出成形乾式パネル面	・	RA 種	・行う ・行わない	せっこうボード面及び その他ボード面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	—	
	下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修																																					
塗替え		新規																																							
木部	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・																																						
鉄鋼面	※RB 種	RA 種																																							
亜鉛めっき面	※RB 種	RA 種																																							
亜鉛めっき面(鋼製建具)	※RB 種	RC 種																																							
珪藻土, プラスター面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・行う ・行わない																																						
コンクリート面(OP 以外), ALCパネル面	※RB 種	RA 種	・行う ・行わない																																						
コンクリート面(OP), 押出成形乾式パネル面	・	RA 種	・行う ・行わない																																						
せっこうボード面及び その他ボード面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	—																																						
3 錆止め塗料塗り	[7.3.2.3] 錆止め塗料塗りの種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塗装面</th> <th>塗料</th> <th>工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">鉄鋼面</td> <td rowspan="3">EP-G 以外</td> <td>塗替え</td> <td>A 種</td> <td>※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>A 種</td> <td>※A 種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A 種</td> <td>※B 種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>B 種</td> <td>※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>B 種</td> <td>※A 種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>B 種</td> <td>※B 種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">亜鉛めっき面</td> <td rowspan="2">EP-G 以外</td> <td>塗替え</td> <td>※A 種</td> <td>※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>※A 種</td> <td>※A 種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>C 種</td> <td>※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>C 種</td> <td>※A 種</td> </tr> </tbody> </table>	塗装面		塗料	工程	鉄鋼面	EP-G 以外	塗替え	A 種	※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	A 種	※A 種	新規見え隠れ	A 種	※B 種	EP-G	塗替え	B 種	※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	B 種	※A 種	新規見え隠れ	B 種	※B 種	亜鉛めっき面	EP-G 以外	塗替え	※A 種	※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	※A 種	※A 種	EP-G	塗替え	C 種	※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	C 種	※A 種
塗装面		塗料	工程																																						
鉄鋼面	EP-G 以外	塗替え	A 種	※C 種																																					
		新規鉄鋼面見え掛り	A 種	※A 種																																					
		新規見え隠れ	A 種	※B 種																																					
	EP-G	塗替え	B 種	※C 種																																					
		新規鉄鋼面見え掛り	B 種	※A 種																																					
		新規見え隠れ	B 種	※B 種																																					
亜鉛めっき面	EP-G 以外	塗替え	※A 種	※C 種																																					
		新規鉄鋼面見え掛り	※A 種	※A 種																																					
	EP-G	塗替え	C 種	※C 種																																					
		新規鉄鋼面見え掛り	C 種	※A 種																																					

章	項目	特記事項																																																																																					
7 塗装改修工事	4 塗装	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ※1種 ・2種</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種 ・</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※A種 ・</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td>・クリアー塗り (CL)</td> <td></td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・フッ酸樹脂エマル塗り (FE)</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td></td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">◎耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級(3)級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 上塗り等級()級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形珪藻土板面</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・つや有合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種 ・</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td></td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td></td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・ウラン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td></td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・ラッカーエマル塗り (LE)</td> <td></td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り (OS)</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> </tbody> </table>				塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・	※B種 ・		亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・	・クリアー塗り (CL)		※B種 ・A種	※B種 ・A種	・フッ酸樹脂エマル塗り (FE)		-	-	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種 ・A種	※B種 ・A種	◎耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級(3)級	・	A種	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級()級	・	A種	コンクリート面及び押出成形珪藻土板面	・	・	・つや有合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・	※B種 ・A種	屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・	※B種 ・	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・	※B種 ・A種	・ウラン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・A種	※B種 ・A種	・ラッカーエマル塗り (LE)		※B種 ・A種	※B種 ・A種	・オイルステイン塗り (OS)		-		・木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
		塗装の種類	塗装面	工程																																																																																			
				塗替え	新規																																																																																		
		・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・																																																																																		
			木部屋内	※B種 ・	※B種 ・																																																																																		
			鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種																																																																																		
			亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・	※B種 ・																																																																																		
			亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・																																																																																		
		・クリアー塗り (CL)		※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																		
		・フッ酸樹脂エマル塗り (FE)		-	-																																																																																		
		・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																		
		◎耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級(3)級	・	A種																																																																																		
			亜鉛めっき鋼面 上塗り等級()級	・	A種																																																																																		
			コンクリート面及び押出成形珪藻土板面	・	・																																																																																		
		・つや有合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・	※B種 ・A種																																																																																		
			屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・																																																																																		
			屋内の鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種																																																																																		
			屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種																																																																																		
		・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・	※B種 ・																																																																																		
		・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・	※B種 ・A種																																																																																		
		・ウラン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																		
		・ラッカーエマル塗り (LE)		※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																		
		・オイルステイン塗り (OS)		-																																																																																			
		・木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																		
<p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面, モルタル面, プラスター面, せっこうボード面, その他ボード面) の塗替えの場合のしみ止め</p> <p>※改修標準仕様書表 7.9.1 の工程 1 の下塗りをしみ止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め</p> <p>※改修標準仕様書表 7.10.1 の工程 1 の下塗りをしみ止めシーラーとする</p> <p>・高日射反射率塗料塗り</p> <p>下地調整 (改修標準仕様書表 7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種</p>																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="3">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付け量 (kg/m²)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>屋根用高日射反射率塗料</td> <td>2種</td> <td>・1級 ・2級 ・3級</td> </tr> </tbody> </table>				工程	塗料その他			塗付け量 (kg/m ²)	規格番号	規格名称	種類	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級																																																																							
工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m ²)																																																																																		
	規格番号	規格名称	種類																																																																																				
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級																																																																																			

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	H29国補 市営池の台団地(14号、15号棟)長寿命化改修工事						
A	直接工事費		1.0	式			
B	共通費		1.0	式			
	合計						
	改め計						
	消費税相当額		1.0	式			8%
	請負に付する額						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B	共通費						
1	共通仮設費		1.0	式			
2	現場管理費		1.0	式			
3	一般管理費		1.0	式			
	B.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	共通仮設費						
1)	共通仮設費	(率)	1.0	式			
2)	共通仮設費	(積上げ分)	1.0	式			
	1.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	現場管理費						
	現場管理費		1.0	式			
	2.計						
3	一般管理費						
	一般管理費		1.0	式			
	契約保証費		1.0	式			
	3.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B2	共通費(積上げ分)						
	道路ガードフェンス仮囲	W=1.8m H=1.8m	7.2	m			
	資材置場仮囲	単管下地・ベニヤH=1.8m	37.8	m			
	資材置場クロスゲート	W=3.0m H=1.8m	2.0	ヶ所			
	B2.計						
	B2.計改め						

本 工 事 費 内 訳 書

番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	直接工事費						
A-I	14号棟 改修工事	4階建 16戸	1.0	式			
A-II	15号棟 改修工事	4階建 8戸	1.0	式			
	A.計						
	A.計改め						

本 工 事 費 内 訳 書

番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-I	14号棟 改修工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	防水改修工事		1.0	式			
3	塗装工事		1.0	式			
4	解体・撤去工事		1.0	式			
	A-I.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	外部枠組本足場	手摺り先行方式 900枠、12m未満、存置100日	1,220.4	m2			
	安全手摺	枠組本足場用 存置100日	93.5	m			
	ネット状養生シート張り	災害防止 1類 存置100日	1,220.4	m2			
	外部脚立足場	ハルコニー H=1.8m 存置100日	262.1	m2			
	外部脚立足場	階段 H=1.8m 存置100日	86.4	m2			
	ステージ足場	H=1.8×7層 屋根材仮置場H=11.7m	24.3	m2			
	仮設材運搬費	枠組本足場 900枠	1,220.4	m2			
	仮設材運搬費	安全手摺 枠組本足場用	93.5	m			
	仮設材運搬費	脚立足場	348.5	m2			
	1.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	防水改修工事						
	(14号棟 屋根)						
	既存シングル葺 防水不良部分のみ撤去	全体面積の2/3程度	236.3	m2			
	防水層面素地調整	アスファルト系 下地活性化剤・調整材	389.1	m2			
	屋根 平場部 FRP防水全面トップコート仕様	ジョイント部2プライ FRPライニング処理 材工共	389.1	m2			
	笠木立上部 FRP防水全面トップコート仕様	ジョイント部2プライ FRPライニング処理 材工共	30.4	m2			
	改修用FRPトレイン新設	FRPライニング処理キャップ付 材工共	14.0	ヶ所			
	階段室屋根 トレイン廻りFRP防水	FRPライニング処理キャップ付 材工共	2.0	ヶ所			
	軒先樋 FRP加工品	t=1.2 糸幅450 FRPライニング2プライ 材工共	68.8	m			
	笠木 FRP加工品	t=2.0 糸幅200 FRPライニング2プライ 材工共	69.8	m			
	ケラバ笠木 FRP加工品	t=2.0 糸幅250 FRPライニング2プライ 材工共	47.3	m			
	棟包 FRP加工品	t=2.0 糸幅500 FRPライニング2プライ 材工共	34.0	m			
	FRP形成品・形材	4種類	1.0	式			
	運搬・梱包・材料荷上費		2.0	回			

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(14号棟 外壁)						
	PC版取合 シーリング打替え	PU-2 20×10	393.0	m			
	シーリング打替え	PU-2 25×10	232.6	m			
	シーリング打替え	PU-2 15×10	680.4	m			
	シーリング打替え	PU-2 10×10	516.8	m			
	階段室屋根 PC版取合シーリング打替	アルミアングル共 PU-2 10×10	20.4	m			
	2.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	塗装工事						
	(14号棟 外部)						
	外壁 高压水洗浄	高压ポンプ(10~15MPa) 水洗い・清掃	1,357.6	m2			
	外壁 下地調整	セメント系下地調整塗材 C-2	1,014.9	m2			
	外壁 防水形複層塗材E	水系フッ素樹脂塗料 ローラー塗り	1,014.9	m2			
	階段壁 下地調整	セメント系下地調整塗材 C-2	273.6	m2			
	階段壁 防水形複層塗材E	水系フッ素樹脂塗料 ローラー塗り	273.6	m2			
	軒天 高压水洗浄	高压ポンプ(10~15MPa) 水洗い・清掃	333.9	m2			
	軒天 下地調整	セメント系下地調整塗材 C-2	333.9	m2			
	軒天 防水形複層塗材E	水系フッ素樹脂塗料 ローラー塗り	333.9	m2			
	竪樋 DP塗替	φ50 支持金物共 下地処理共	20.6	m			
	竪樋 DP塗替	φ75 支持金物共 下地処理共	154.3	m			
	排水管 DP塗替	φ65 支持金物共 下地処理共	42.8	m			
	階段手摺 DP塗替	φ42.7スチール 下地処理, 錆止め共	125.2	m			

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	階段手摺子 DP塗替	φ16スチール 下地処理, 錆止め共	154.2	m			
	電話・電気引込盤ボックス配管 DP塗替	下地処理, 錆止め共	2.0	ヶ所			
	テレビ・引込盤ボックス配管 DP塗替	下地処理, 錆止め共	1.0	ヶ所			
	鋼製建具 DP塗替・内部用	下地処理, 錆止め共	86.1	m ²			
	玄関扉室番号 カッティングシート貼	W200×H75	16.0	ヶ所			
	エアコンスリーブ フタ交換	Φ100 樹脂製	6.0	ヶ所			
	ベランダ隔て板(両面) ウレタン樹脂塗装	W930×H1800 2回塗、下地処理共	8.0	ヶ所			
	ベランダ隔て板(両面) 注意ステッカー貼	カッティングシート(両面)	16.0	枚			
	棟番号 DP塗替		2.0	ヶ所			
	3.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	解体・撤去工事						
	(14号棟)						
	屋根 ルーフトレイン撤去	50φ 堅引	16.0	個			
	屋根 防水押え金物撤去		118.2	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	25×10	232.6	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	20×10	393.0	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	15×10	680.4	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	10×10	516.8	m			
	階段室屋根 シーリング撤去	10×10	20.4	m			
	発生材処分費	集積・運搬共(産廃処理)	1.0	式			
	4.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-II	15号棟 改修工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	防水改修工事		1.0	式			
3	塗装工事		1.0	式			
4	解体・撤去工事		1.0	式			
	A-II.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	外部枠組本足場	手摺り先行方式 900枠、12m未満、存置100日	782.0	m2			
	安全手摺	枠組本足場用 存置100日	59.9	m			
	ネット状養生シート張り	災害防止 1類 存置100日	782.0	m2			
	外部脚立足場	ハルコニー H=1.8m 存置100日	131.0	m2			
	外部脚立足場	階段 H=1.8m 存置100日	43.2	m2			
	ステージ足場	H=1.8×7層 屋根材仮置場H=11.7m	14.6	m2			
	仮設材運搬費	枠組本足場 900枠	782.0	m2			
	仮設材運搬費	安全手摺 枠組本足場用	59.9	m			
	仮設材運搬費	脚立足場	174.2	m2			
	1.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	防水改修工事						
	(15号棟 屋根)						
	既存シングル葺 防水不良部分のみ撤去	全体面積の2/3程度	115.6	m2			
	防水層面素地調整	アスファルト系 下地活性化剤・調整材	190.9	m2			
	屋根 平場部 FRP防水全面トップコート仕様	ジョイント部2プライ FRPライニング処理 材工共	190.9	m2			
	笠木立上部 FRP防水全面トップコート仕様	ジョイント部2プライ FRPライニング処理 材工共	14.3	m2			
	改修用FRPドレイン新設	FRPライニング処理キャップ付 材工共	8.0	ヶ所			
	階段室屋根 ドレイン廻りFRP防水	FRPライニング処理キャップ付 材工共	1.0	ヶ所			
	軒先樋 FRP加工品	t=1.2 糸幅450 FRPライニング2プライ 材工共	34.8	m			
	笠木 FRP加工品	t=2.0 糸幅200 FRPライニング2プライ 材工共	39.8	m			
	ケラバ笠木 FRP加工品	t=2.0 糸幅250 FRPライニング2プライ 材工共	32.1	m			
	棟包 FRP加工品	t=2.0 糸幅500 FRPライニング2プライ 材工共	17.3	m			
	FRP形成品・形材	4種類	1.0	式			
	運搬・梱包・材料荷上費		2.0	回			

本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(15号棟 外壁)						
	PC版取合 シーリング打替え	PU-2 20×10	262.1	m			
	シーリング打替え	PU-2 25×10	116.3	m			
	シーリング打替え	PU-2 15×10	402.9	m			
	シーリング打替え	PU-2 10×10	267.4	m			
	階段室屋根 PC版取合シーリング打替	アルミアングル共 PU-2 10×10	10.2	m			
	階段室屋根 軒裏爆裂部補修	エポキシ樹脂モルタル 階段室軒天部分	1.0	ヶ所			
	2.計						

本 工 事 費 内 訳 書

番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	塗装工事						
	(15号棟 外部)						
	外壁 高压水洗浄	高压ポンプ(10~15MPa) 水洗い・清掃	833.3	m2			
	外壁 下地調整	セメント系下地調整塗材 C-2	647.7	m2			
	外壁 防水形複層塗材E	水系フッ素樹脂塗料 ローラー塗り	647.7	m2			
	階段壁 下地調整	セメント系下地調整塗材 C-2	143.2	m2			
	階段壁 防水形複層塗材E	水系フッ素樹脂塗料 ローラー塗り	143.2	m2			
	軒天 高压水洗浄	高压ポンプ(10~15MPa) 水洗い・清掃	166.9	m2			
	軒天 下地調整	セメント系下地調整塗材 C-2	166.9	m2			
	軒天 防水形複層塗材E	水系フッ素樹脂塗料 ローラー塗り	166.9	m2			
	縦樋 DP塗替	φ50 支持金物共 下地処理共	10.3	m			
	縦樋 DP塗替	φ75 支持金物共 下地処理共	88.0	m			
	排水管 DP塗替	φ65 支持金物共 下地処理共	21.4	m			
	階段手摺 DP塗替	φ42.7スチール 下地処理, 錆止め共	62.6	m			

本 工 事 費 内 訳 書

番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(15号棟)	階段手摺子 DP塗替	φ16スチール 下地処理, 錆止め共	77.1	m			
	電話・電気引込盤ボックス配管 DP塗替	下地処理, 錆止め共	2.0	ヶ所			
	テレビ・引込盤ボックス配管 DP塗替	下地処理, 錆止め共	1.0	ヶ所			
	鋼製建具 DP塗替・内部用	下地処理, 錆止め共	46.1	m ²			
	玄関扉室番号 カッティングシート貼	W200×H75	8.0	ヶ所			
	エアコンスリーブ フタ交換	Φ100 樹脂製	3.0	ヶ所			
	ベランダ隔て板(両面) ウレタン樹脂塗装	W930×H1800 2回塗、下地処理共	4.0	ヶ所			
	ベランダ隔て板(両面) 注意ステッカー貼		8.0	枚			
	棟番号 DP塗替		2.0	ヶ所			
	天井裏換気パイプ交換	Φ50 塩ビ製	1.0	ヶ所			
	3.計						

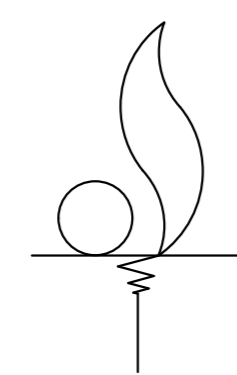
本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	解体・撤去工事						
	(15号棟)						
	屋根 ルーフトレイン撤去	50φ 堅引	9.0	個			
	屋根 防水押え金物撤去		66.8	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	25×10	116.3	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	20×10	262.1	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	15×10	402.9	m			
	外壁 PC版取合シーリング撤去	10×10	267.4	m			
	階段室屋根 シーリング撤去	10×10	10.2	m			
	発生材処分費	集積・運搬共(産廃処理)	1.0	式			
	4.計						

H29国補 市営池の台団地(14号, 15号棟)長寿命化改修工事

設 計 図

H29・7



有限会社 吉田建築計画事務所

Architecture
Office

図面リスト					
A - 01	案内図・配置図	S = 1 : 500	A - 16	15号棟 3階平面図	S = 1 : 50
A - 02	仕上表	S = NO SCALE	A - 17	15号棟 4階平面図	S = 1 : 50
A - 03	14号棟 1階平面図	S = 1 : 50	A - 18	15号棟 屋根伏図	S = 1 : 50
A - 04	14号棟 2階平面図	S = 1 : 50	A - 19	15号棟 立面図1 (南側・東側)	S = 1 : 50
A - 05	14号棟 3階平面図	S = 1 : 50	A - 20	15号棟 立面図2 (北側・西側)	S = 1 : 50
A - 06	14号棟 4階平面図	S = 1 : 50	A - 21	15号棟 断面図	S = 1 : 50
A - 07	14号棟 屋根伏図	S = 1 : 50	A - 22	15号棟 矩計図	S = 1 : 30
A - 08	14号棟 立面図1 (南側)	S = 1 : 50	A - 23	15号棟 階段詳細図	S = 1 : 30
A - 09	14号棟 立面図2 (東側・西側)	S = 1 : 50			
A - 10	14号棟 立面図3 (北側)	S = 1 : 50			
A - 11	14号棟 断面図	S = 1 : 50			
A - 12	14号棟 矩計図	S = 1 : 30			
A - 13	14号棟 階段詳細図	S = 1 : 30			
A - 14	15号棟 1階平面図	S = 1 : 50			
A - 15	15号棟 2階平面図	S = 1 : 50			

■memo

一級建築士事務所 有限会社 吉田建築計画事務所
 茨城県知事登録第A2710号(2807)
 一級建築士 国土交通大臣登録第234744号
 管理建築士 吉田良一 〒315-0001 茨城県石岡市石岡1-1-8

Yoshida architect design office
 tel 0299-56-3246 fax 0299-56-3248
 URL http://www.iezukuri.co.jp
 mail info@iezukuri.co.jp

承認 設計 担当

吉田

■scale

NO SCALE

■date

H29.07.18

■project title

H29国補 市営池の台団地(14号,15号棟)長寿命化改修工事

■drawing title

図面リスト

No.

A-00



案内図 NO SCALE

配置図 S = 1 : 500

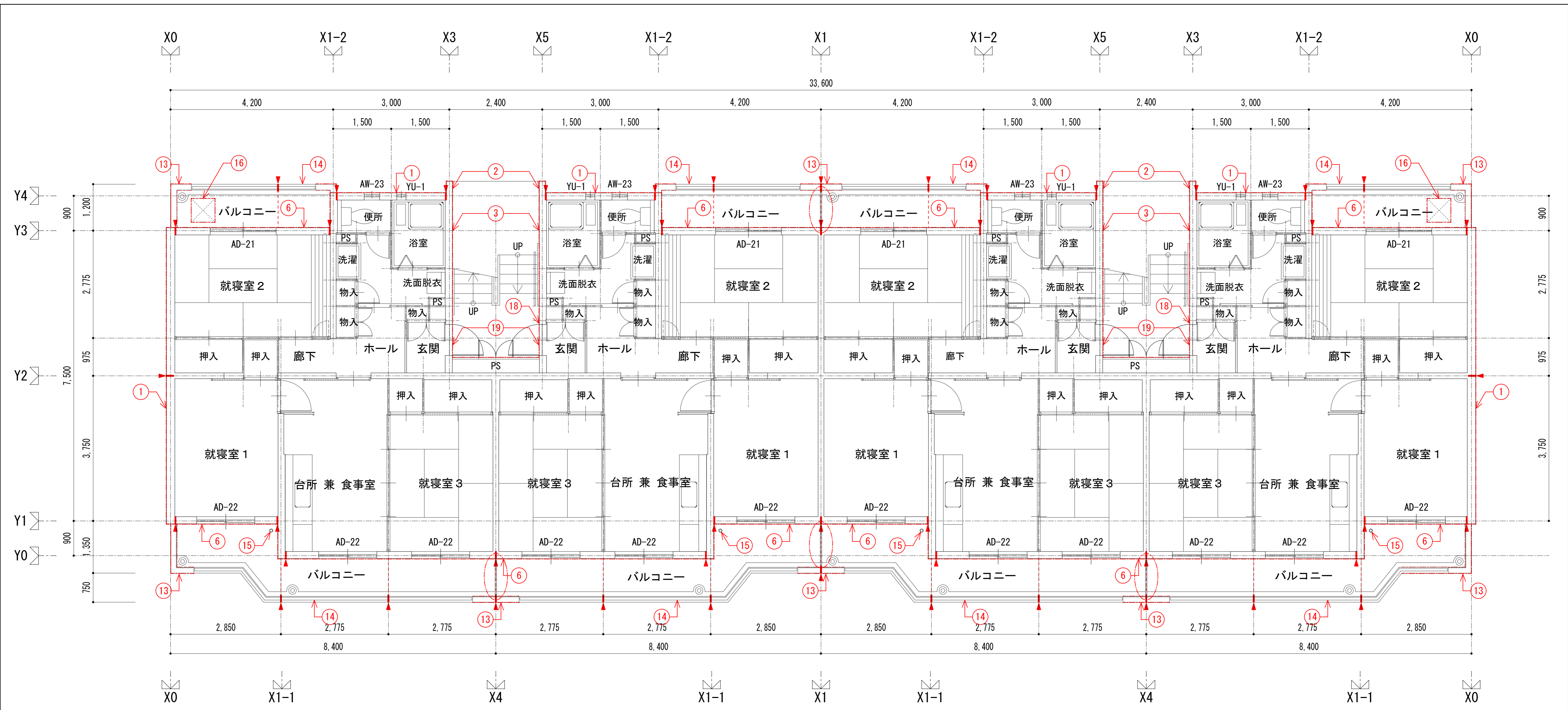
凡例
 改修建築物

■memo 一級建築士事務所 有限会社 吉田建築計画事務所 茨城県知事登録第A2710号(2807) 一級建築士 国土交通大臣登録第234744号 管理建築士 吉田良一 〒315-0001 茨城県石岡市石岡1-1-8	Yoshida architect design office tel 0299-56-3246 fax 0299-56-3248 URL http://www.iezukuri.co.jp mail info@iezukuri.co.jp	承認	設計	担当	■scale S=1/1000 A3 S=1/500 A1 ■date H29.07.18	■project title H29国補 市営池の台団地(14号,15号棟)長寿命化改修工事 ■drawing title 案内図・配置図	No. A-01
			吉田				

改修部分 仕上表

屋根（平場部分）	既 存	PC版金ゴテの上ゴムアスファルトシート（下層用）下地アスファルトシングル葺	外壁	既 存	PC版下地アクリル系リシン吹付
	改 修	既存アスファルトシングル葺不良部分撤去・処分，下地調整の上FRP防水（トップコート仕様）		改 修	高圧洗浄，下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗
屋根（棟部分）	既 存	PC版金ゴテの上ゴムアスファルトシート（下層用）下地アスファルトシングル葺	軒天	既 存	PC版下地アクリル系リシン吹付
	改 修	既存アスファルトシングル葺不良部分撤去，下地調整の上FRP防水（トップコート仕様）・FRP成形品（棟包み）		改 修	高圧洗浄，下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗
屋根（軒先部分）	既 存	PC版金ゴテの上ゴムアスファルトシート（露出防水層用），アルミアングル・t=1.2・70×40	庇	既 存	PC版下地アクリル系リシン吹付
	改 修	既存アスファルトシングル葺不良部分及びアルミアングル撤去・処分，下地調整の上FRP防水（トップコート仕様）・FRP成形品（軒先笠木部分）		改 修	高圧洗浄，下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗
屋根（ケラバ部分）	既 存	PC版金ゴテの上ゴムアスファルトシート（露出防水層用），アルミアングル・t=1.2・70×40	階段室（壁，天井，段裏）	既 存	PC版下地アクリル系リシン吹付
	改 修	既存アスファルトシングル葺不良部分及びアルミアングル撤去・処分，下地調整の上FRP防水（トップコート仕様）・FRP成形品（ケラバ笠木部分）		改 修	高圧洗浄，下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗
ルーフトレイン	既 存	鑄鉄製φ75（階段室上部φ50）	階段室（ササラ手摺面）	既 存	PC版素地
	改 修	既存トレイン撤去処分の上，改修用トレイン新設（階段室上部のみFRP補強の上キャップのみ新設）		改 修	高圧洗浄，下地調整の上防水形複層塗材E（水系フッ素樹脂塗料）ローラー塗
軒先樋	既 存	PC版，防水モルタル（水勾配）の上ゴムアスファルトシート（露出防水層用），アルミアングル・t=1.2・70×40	階段手摺	既 存	スチール製 OP塗（手摺：φ42.7，手摺子：φ16）
	改 修	既存アスファルトシングル葺不良部分及びアルミアングル撤去・処分，下地調整の上FRP防水（トップコート仕様）・FRP現場加工品		改 修	下地調整（RB種），錆止め塗装の上DP塗
ベランダ隔て板	既 存	ケイカル板t=6.0 VE塗装 アルミ枠	縦樋	既 存	VPφ75
	改 修	下地処理の上ウレタン樹脂塗装2回塗り 両面，注意ステッカー貼 両面		改 修	下地調整（RB種）の上DP塗
			台所用排水管	既 存	VPφ65
				改 修	下地調整（RB種）の上DP塗
			PCジョイント部分	既 存	建築用ウレタンシーリング材
				改 修	既存シーリング撤去・処分の上 シーリング（PU-2）打替 ※詳細は，平面図及び立面図の防水箇所一覧表を参照。
			EPS扉 床下改め口	既 存	スチール製 OP塗
				改 修	下地調整（RB種），錆止め塗装の上DP塗 EPS扉：片面，床下改め口：片面
			外部 棟番号 電気及び電話引込ボックス 及びケーブル配管	既 存	スチール製OP塗，プラスチック製他
				改 修	下地調整（RB種），錆止め塗装の上DP塗
			屋上マンホールタラップ	既 存	スチール製
				改 修	下地調整（RB種），錆止め塗装の上DP塗
			玄関扉	既 存	スチール製 OP塗 ※14号棟103、104号室は既存のままとする
				改 修	扉両面下地調整（RB種），錆止め塗装の上DP塗（F☆☆☆☆）（室番号：カッティングシート貼）

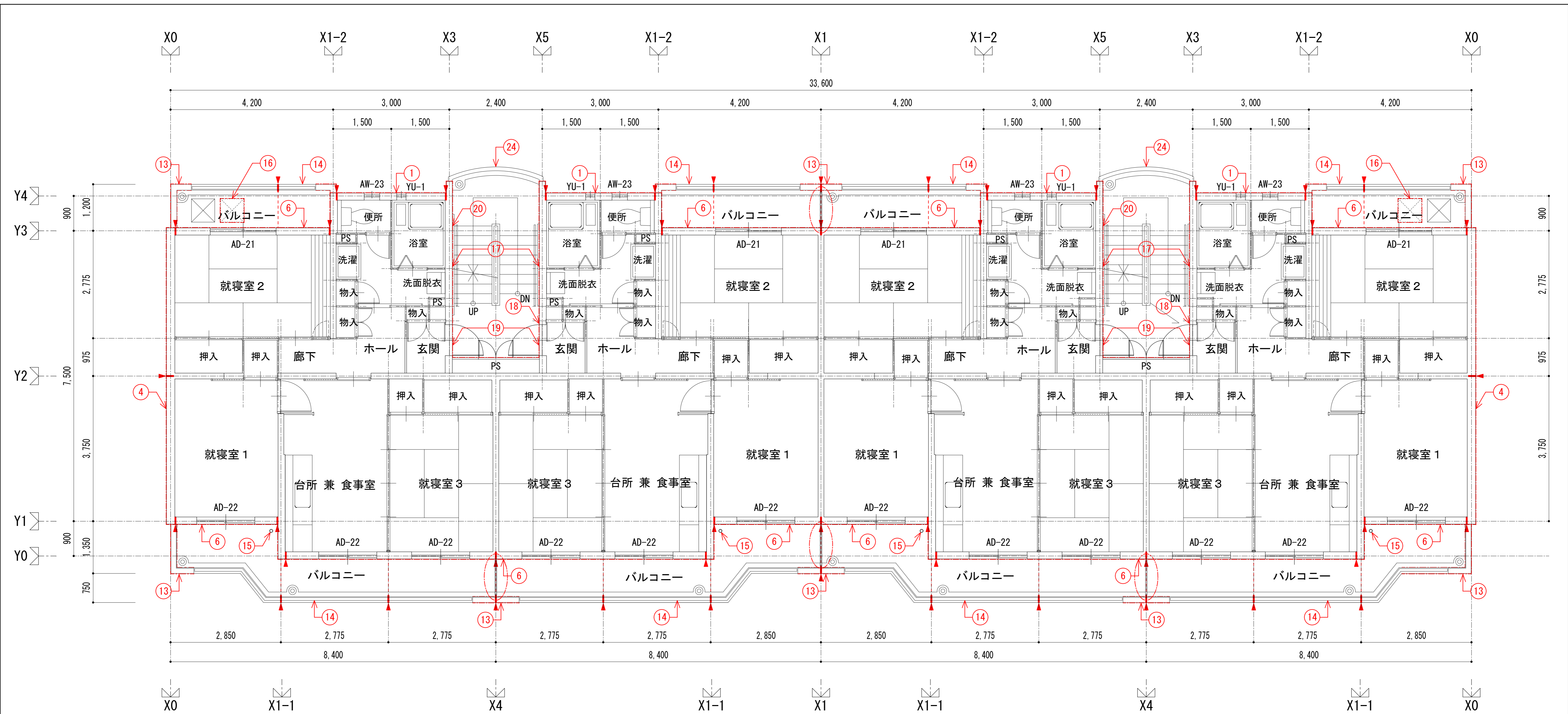
- 特記事項■
- ・FRP防水とは、屋上防水FRPカバー工法（日本防水工法開発協会）とする。
 - ・FRP防水の下地調整は、アスファルト系下地活性化剤とする。
 - ・鋼製建具サイズは下記とする。
 - ・玄関扉：W800×H1,900
 - ・EPS扉：W2,220×H2,360（最上階のみ扉上部にW2,220×H250有）
 - ・床下改め口：W550×H500



1階平面図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様			防水箇所	材料・仕様				
	既存	改修			既存	改修			
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑱ 壁 — 隅床			バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑲ 玄関ドア下部			ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	
	④ 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場			建築用ウレタンシーリング材	
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉑ 階段P C手摺目地廻り			建築用ウレタンシーリング材	
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部			建築用ウレタンシーリング材	
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)			建築用ウレタンシーリング材	
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入						
	⑨ 外壁 — 庇上部		建築用ウレタンシーリング材						
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り		建築用ウレタンシーリング材						
	バルコニー	⑪ 天端立上り接合部			建築用ウレタンシーリング材				
		⑫ 床 — 床(下部)			建築用ウレタンシーリング材				
		⑬ P C手摺目地廻り			建築用ウレタンシーリング材				
		⑭ アルミ手摺取付脚廻り			建築用ウレタンシーリング材				
		⑮ 台所排水管廻り			アスファルト液状シール材				
		⑯ 垂直避難口廻り			建築用ウレタンシーリング材				

- 凡例 ■
- ➡ PCジョイント部を示す。(外壁)
 - ➡ PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
 - バランダ隔て板：下地処理の上カク樹脂塗装2回塗り 両面 注意ステッカー貼 両面

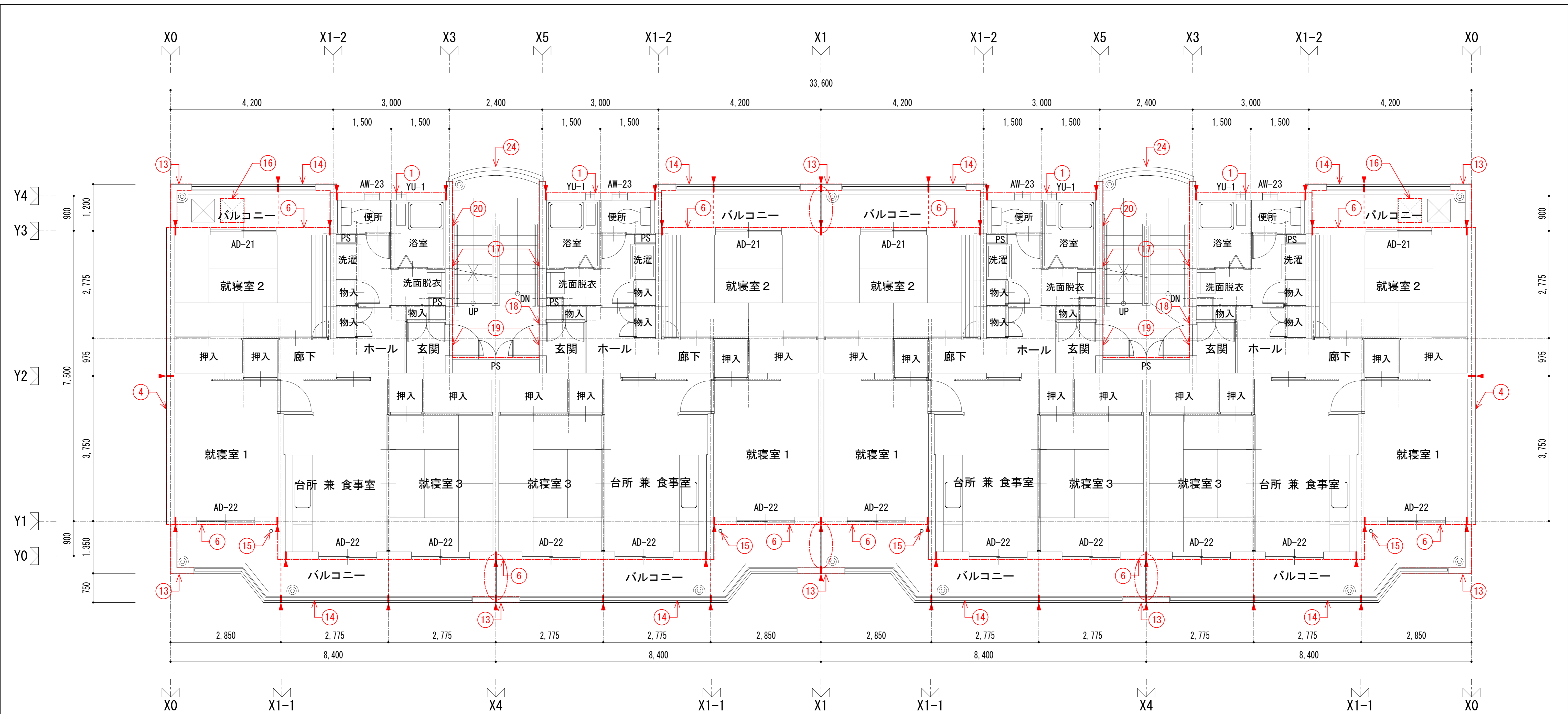


2階平面図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様			防水箇所	材料・仕様		
	既存	改修			既存	改修	
1 外壁 - 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	17 壁 - 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
2 外壁 - 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	18 壁 - 隅張床	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
3 外壁 - 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	19 玄関ドア下部		グラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
4 外壁 - 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	20 壁 - 階段ササラ 上・下部、中間踊場		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
5 外壁 - 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	21 階段P C手摺目地廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
6 外壁 - バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10	22 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
7 外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	23 屋根版 - 屋根版 接合部(下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
8 外壁 - 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10				
9 外壁 - 庇上部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10				
10 外壁 - 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10				
11 天端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10				
12 床 - 床(下部)		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10				
13 バルコニー P C手摺目地廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10				
14 バルコニー アルミ手摺取付脚廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10				
15 台所排水管廻り		アスファルト液状シール材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10				
16 垂直避難口廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10				

■ 凡例 ■

- PCジョイント部を示す。(外壁)
- - - PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- ペランダ隔て板: 下地処理の上ケチ樹脂塗装2回塗り 両面
注意ステッカー貼 両面

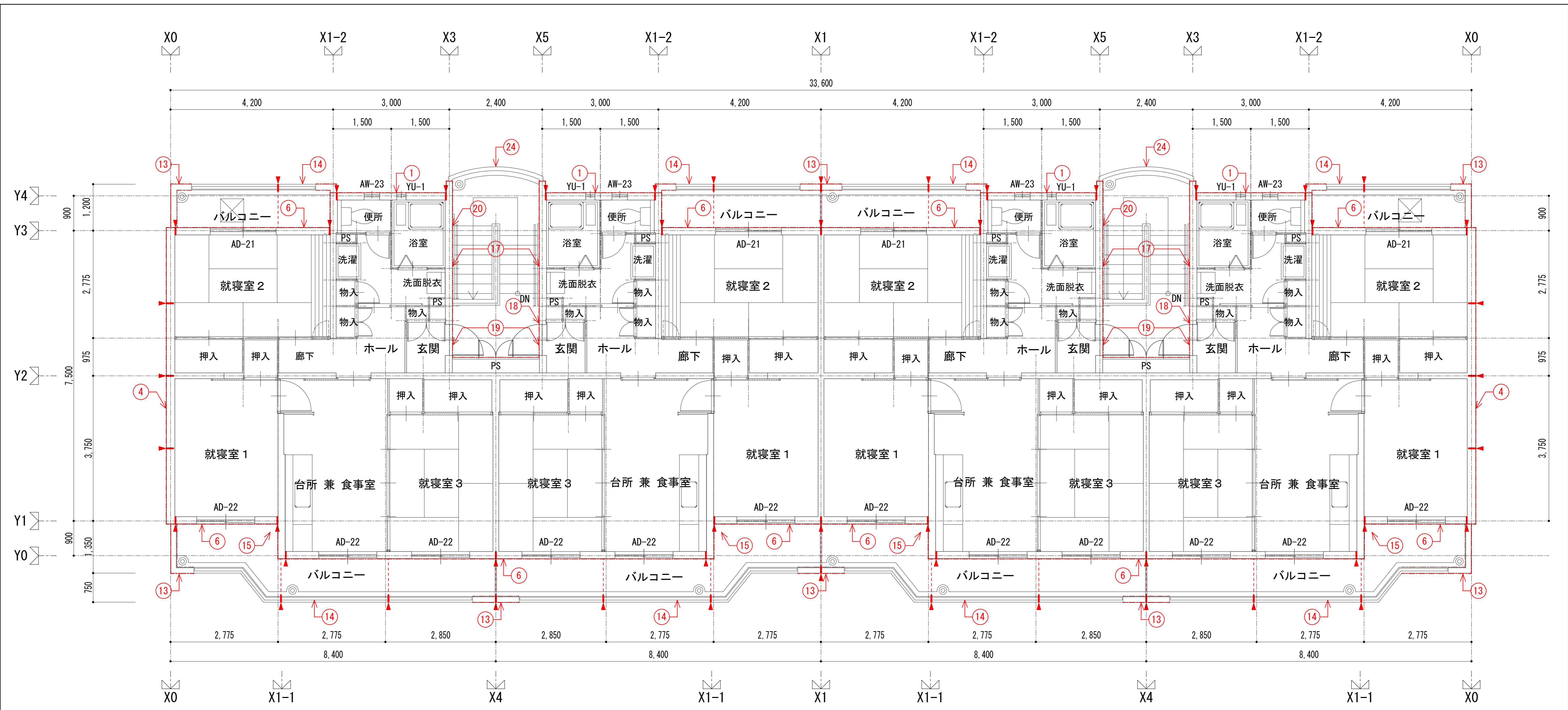


3階平面図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様			防水箇所	材料・仕様				
	既存	改修			既存	改修			
外壁	① 外壁 - 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑰ 壁 - 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		
	② 外壁 - 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑱ 壁 - 踊床			バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	③ 外壁 - 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑲ 玄関ドア下部			ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	
	④ 外壁 - 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑳ 壁 - 階段ササラ 上・下部、中間踊床			建築用ウレタンシーリング材	
	⑤ 外壁 - 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉑ 階段P C手摺目地廻り			建築用ウレタンシーリング材	
	⑥ 外壁 - バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部			建築用ウレタンシーリング材	
	⑦ 外壁 - バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉓ 屋根版 - 屋根版 接合部(下部)			建築用ウレタンシーリング材	
	⑧ 外壁 - 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材						
	⑨ 外壁 - 応上部		建築用ウレタンシーリング材						
	⑩ 外壁 - 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り		建築用ウレタンシーリング材						
	バルコニー	⑪ 天端立上り接合部			建築用ウレタンシーリング材				
		⑫ 床 - 床(下部)			建築用ウレタンシーリング材				
		⑬ P C手摺目地廻り			建築用ウレタンシーリング材				
		⑭ アルミ手摺取付脚廻り			建築用ウレタンシーリング材				
		⑮ 台所排水管廻り			アスファルト液状シール材				
		⑯ 垂直避難口廻り			建築用ウレタンシーリング材				

■ 凡例 ■

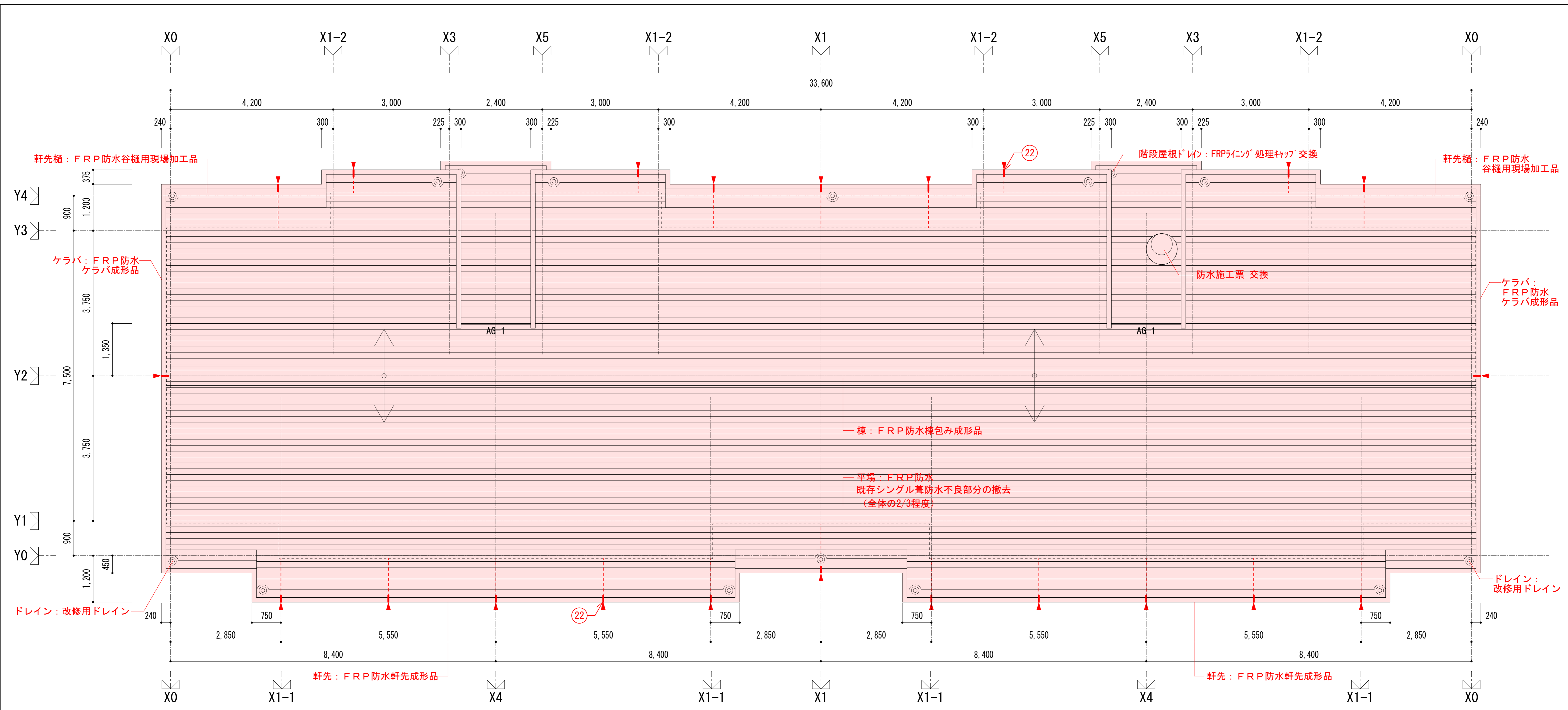
- PCジョイント部を示す。(外壁)
- - - PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
- ベランダ隔て板: 下地処理の上ケラバ樹脂塗装2回塗り 両面 注意ステッカー貼 両面



4階平面図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様			防水箇所	材料・仕様			
	既存	改修			既存	改修		
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑱ 壁 — 隅張床	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑲ 玄関ドア下部	グラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	④ 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間隅張	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉑ 階段P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入					
	⑨ 外壁 — 庇上部	建築用ウレタンシーリング材						
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材						
	バルコニー	⑪ 天端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材					
		⑫ 床 — 床(下部)	建築用ウレタンシーリング材					
		⑬ P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材					
		⑭ アルミ手摺取付脚廻り	建築用ウレタンシーリング材					
		⑮ 台所排水管廻り	アスファルト液状シール材					
		⑯ 垂直避難口廻り	建築用ウレタンシーリング材					

- 凡例 ■
- PCジョイント部を示す。(外壁)
 - - - PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
 - ベランダ隔て板：下地処理の上ケラバ樹脂塗装2回塗り 両面
注意ステッカー貼 両面



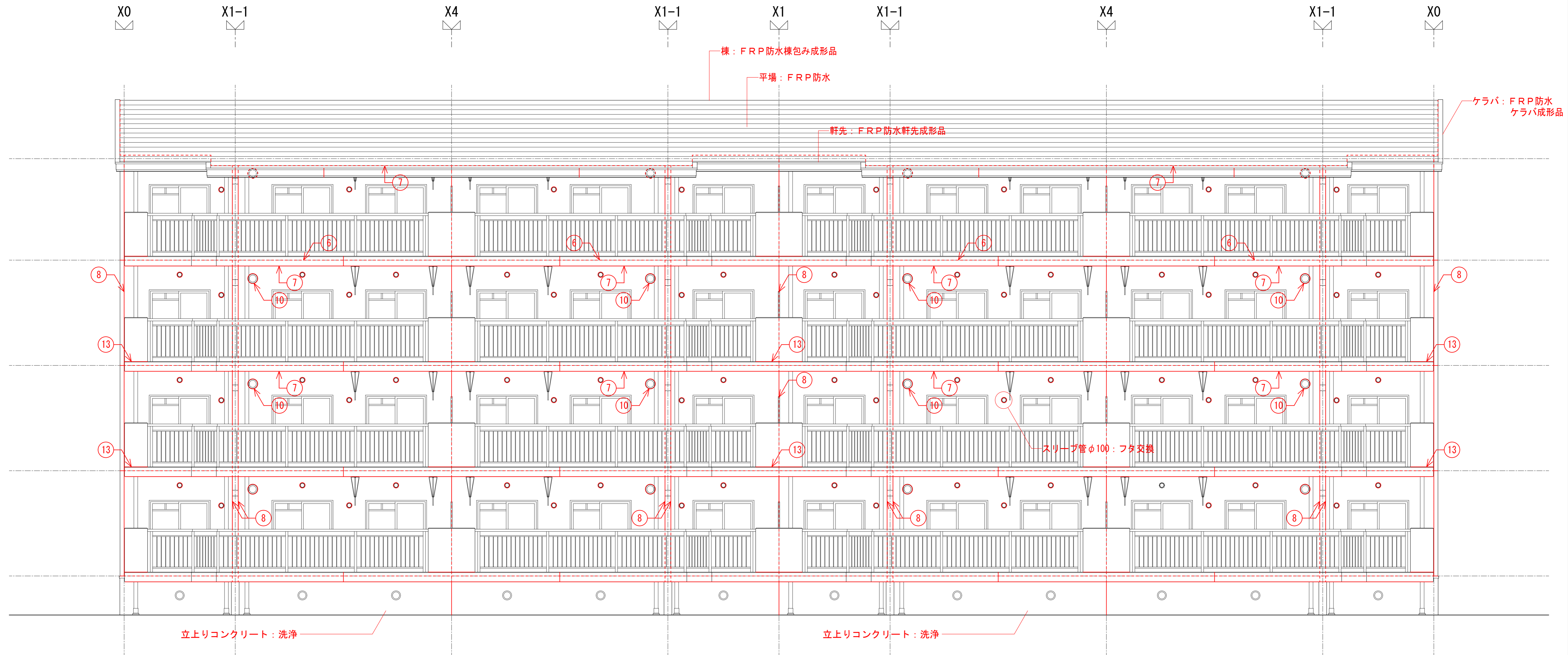
屋根伏図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様	
	既存	改修		既存	改修
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 — 基礎 (階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑱ 壁 — 隅隅床	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 — 基礎 (階段部)	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑲ 玄関ドア下部	ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 — 外壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場	建築用ウレタンシーリング材
	⑤ 外壁 — 外壁 (階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉑ 階段PC手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地 テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部 (下部)	建築用ウレタンシーリング材
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入			
	⑨ 外壁 — 応上部	建築用ウレタンシーリング材			
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材			
バルコニー	⑪ 天端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材			
	⑫ 床 — 床 (下部)	建築用ウレタンシーリング材			
	⑬ PC手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材			
	⑭ アルミ手摺取付脚廻り	建築用ウレタンシーリング材			
	⑮ 台所排水管廻り	アスファルト液状シール材			
	⑯ 垂直避難口廻り	建築用ウレタンシーリング材			

■ 凡例 ■

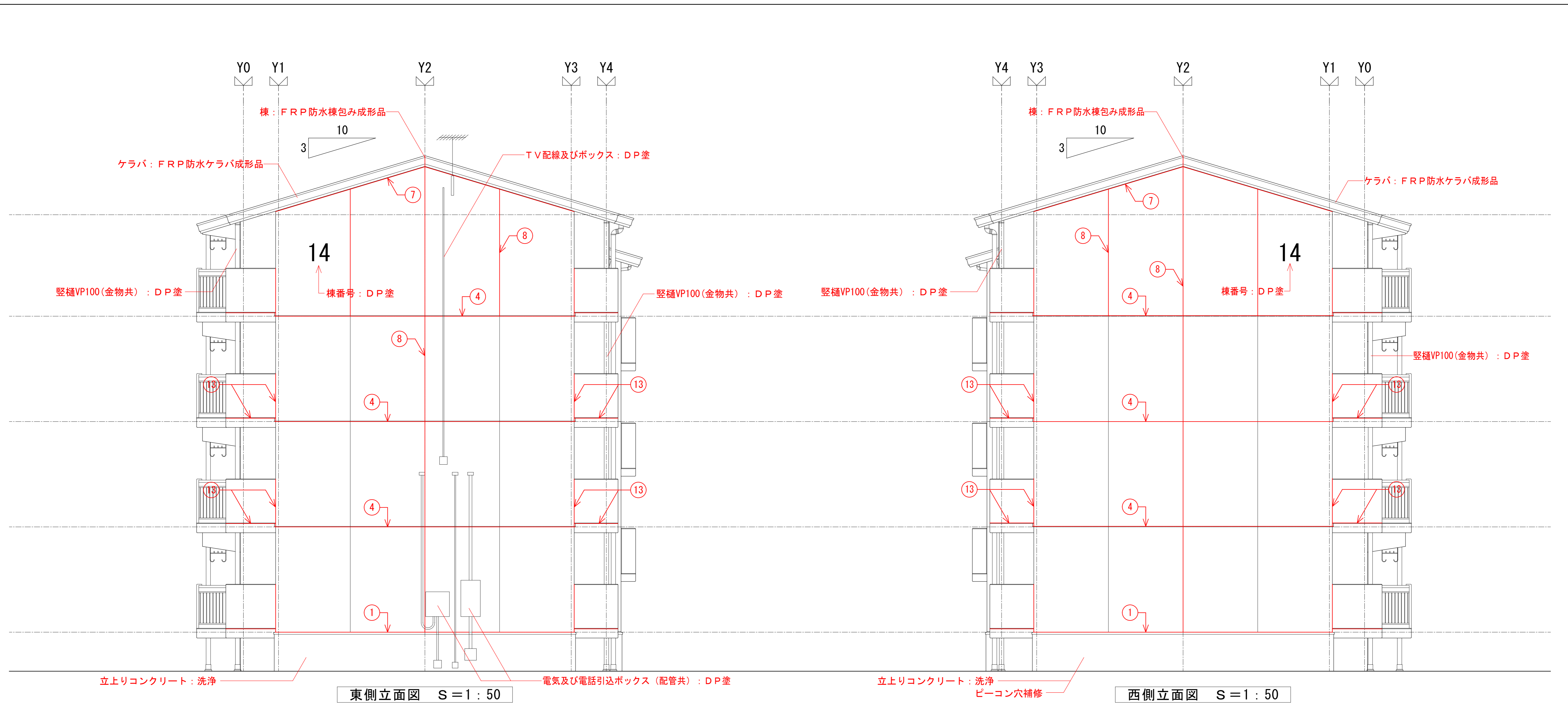
➤ PCジョイント部を示す。
(外壁)

➤ PCジョイント部を示す。
(バルコニー及び屋根版)

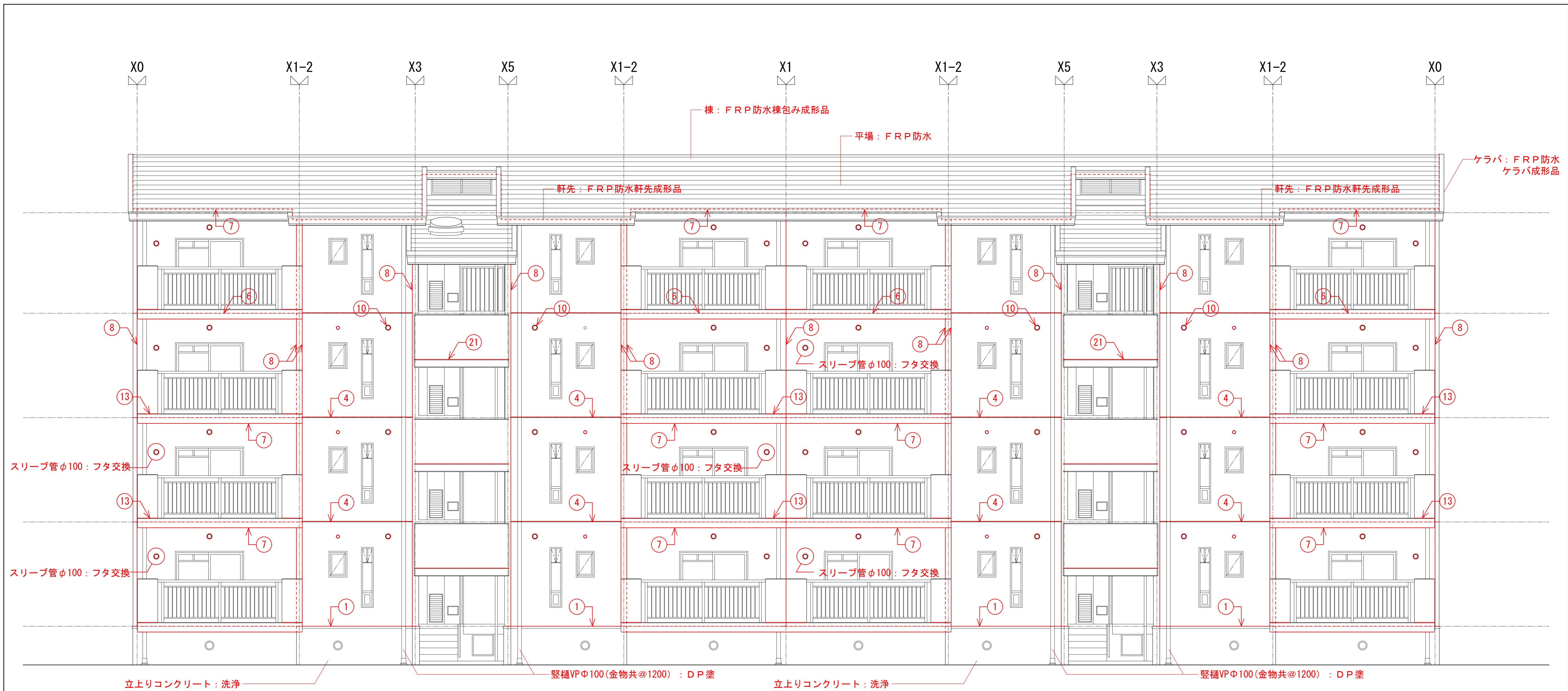


南側立面図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様		
	既存	改修		既存	改修	
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑱ 壁 — 隅床	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑲ 玄関ドア下部	ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	
	④ 外壁 — 外壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場	建築用ウレタンシーリング材	
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉑ 階段P.C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材	
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地 テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材	
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部、屋根下部	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)	建築用ウレタンシーリング材	
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入				
	⑨ 外壁 — 応上部	建築用ウレタンシーリング材				
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材				
	バルコニー	⑪ 天端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材		
		⑫ 床 — 床(下部)		建築用ウレタンシーリング材		
		⑬ P.C手摺目地廻り		建築用ウレタンシーリング材		
		⑭ アルミ手摺取付脚廻り		建築用ウレタンシーリング材		
		⑮ 台所排水管廻り		アスファルト液状シール材		
		⑯ 垂直避難口廻り		建築用ウレタンシーリング材		

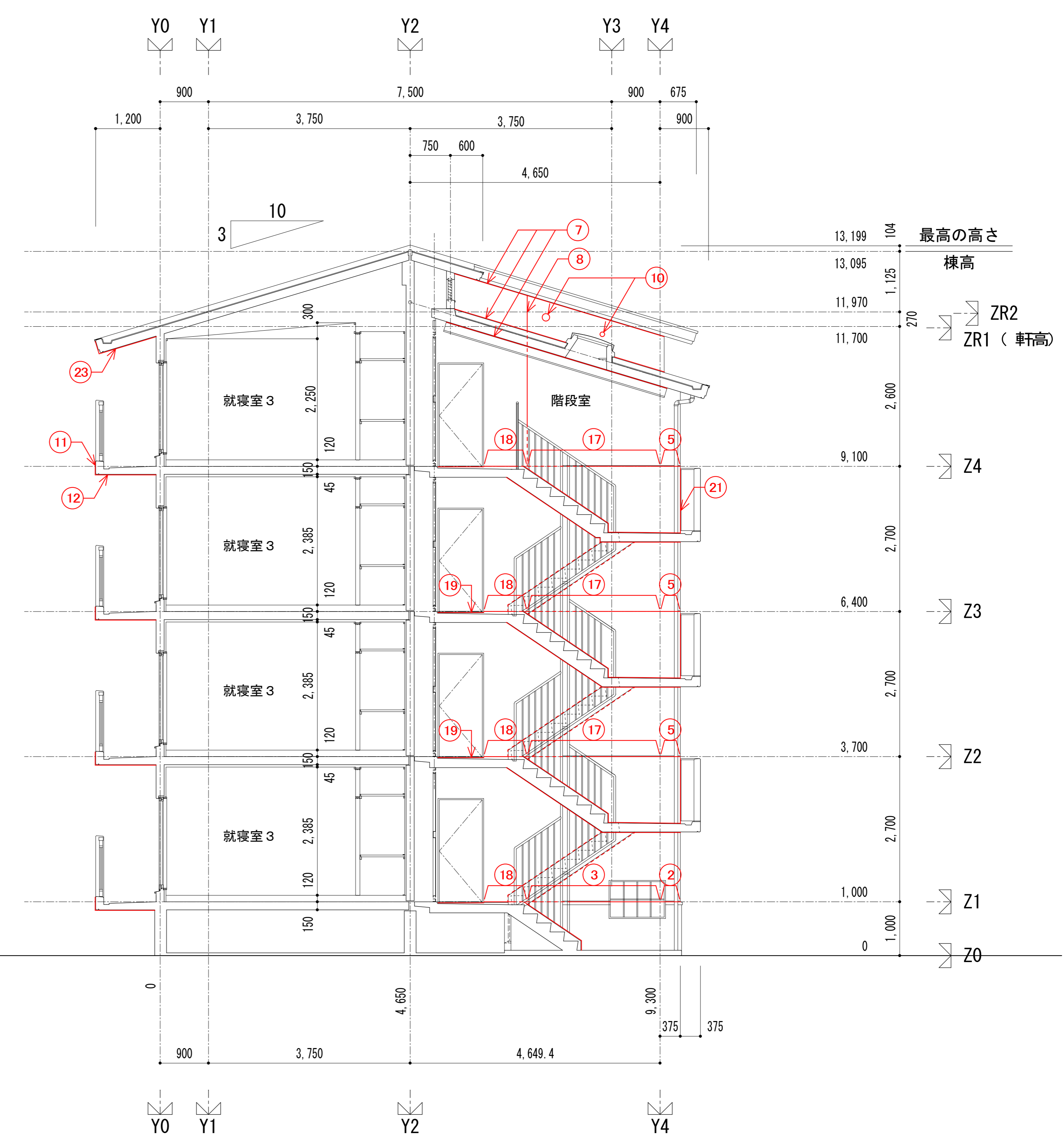


防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様		
	既存	改修		既存	改修	
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	④ 外壁 — 外壁	横目地	④ 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材	
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入	
	⑨ 外壁 — 庇上部	建築用ウレタンシーリング材	⑨ 外壁 — 庇上部	建築用ウレタンシーリング材	建築用ウレタンシーリング材	
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材	建築用ウレタンシーリング材	
	バルコニー	⑪ 天端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材	⑪ 天端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材	建築用ウレタンシーリング材
		⑫ 床 — 床(下部)	建築用ウレタンシーリング材	⑫ 床 — 床(下部)	建築用ウレタンシーリング材	建築用ウレタンシーリング材
		⑬ P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材	⑬ P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材	建築用ウレタンシーリング材
		⑭ アルミ手摺取付脚廻り	建築用ウレタンシーリング材	⑭ アルミ手摺取付脚廻り	建築用ウレタンシーリング材	建築用ウレタンシーリング材
		⑮ 台所排水管廻り	アスファルト液状シール材	⑮ 台所排水管廻り	アスファルト液状シール材	アスファルト液状シール材
		⑯ 垂直避難口廻り	建築用ウレタンシーリング材	⑯ 垂直避難口廻り	建築用ウレタンシーリング材	建築用ウレタンシーリング材
階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地	⑰ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	⑱ 壁 — 踊場床	横目地	⑱ 壁 — 踊場床	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	⑲ 玄関ドア下部	横目地	⑲ 玄関ドア下部	横目地	グラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	
	⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場	横目地	⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場	横目地	建築用ウレタンシーリング材	
	㉑ 階段P C手摺目地廻り	横目地	㉑ 階段P C手摺目地廻り	横目地	建築用ウレタンシーリング材	
	屋根	㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	横目地	㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	横目地	建築用ウレタンシーリング材
㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)		横目地	㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)	横目地	建築用ウレタンシーリング材	



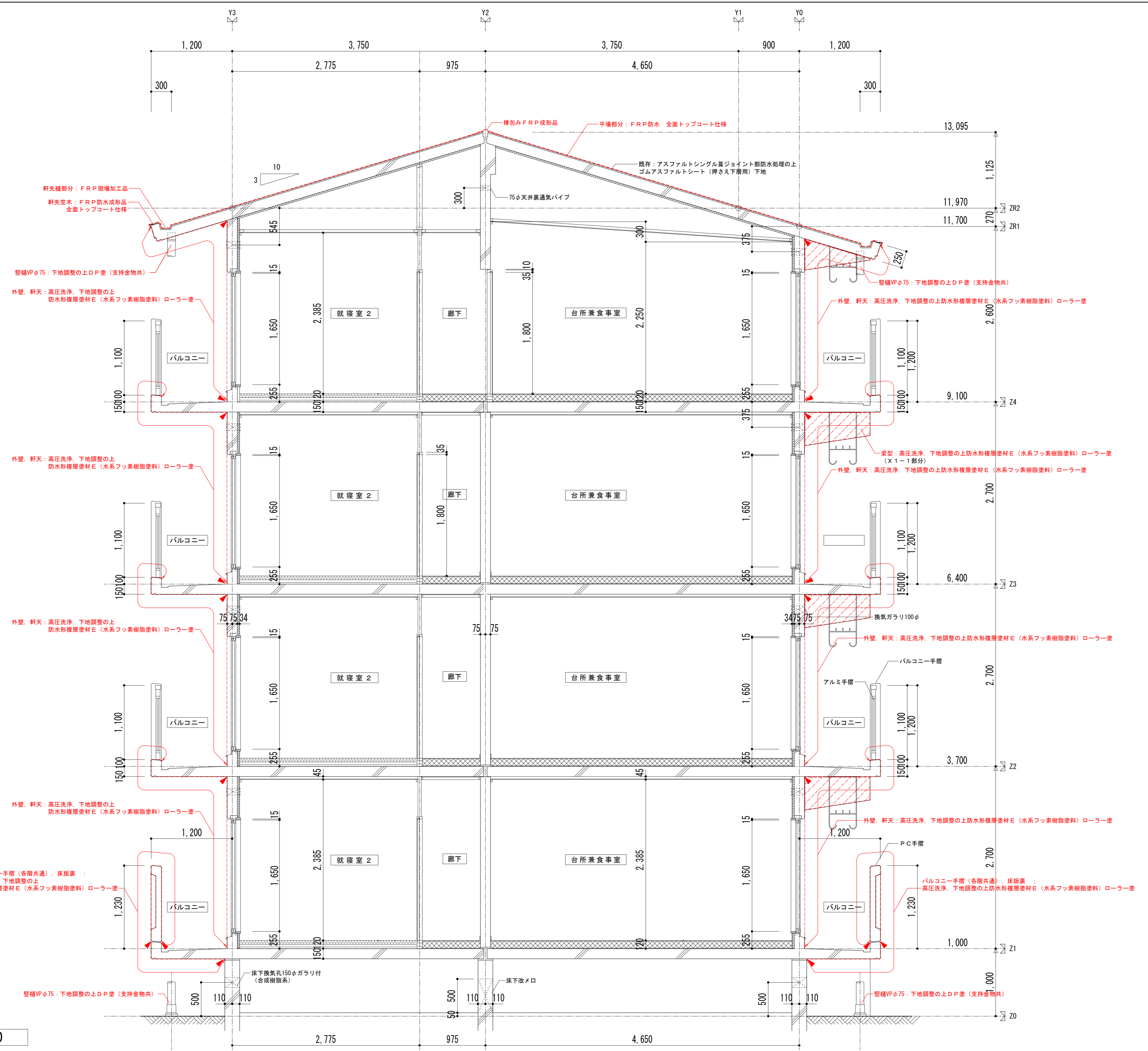
北側立面図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様	
	既存	改修		既存	改修
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑱ 壁 — 隅場床	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑲ 玄関ドア下部	ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 — 外壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間隅場	建築用ウレタンシーリング材
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉑ 階段P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地 テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)	建築用ウレタンシーリング材
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入			
	⑨ 外壁 — 応上部	建築用ウレタンシーリング材			
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材			
バルコニー	⑪ 天端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材			
	⑫ 床 — 床(下部)	建築用ウレタンシーリング材			
	⑬ P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材			
	⑭ アルミ手摺取付脚廻り	建築用ウレタンシーリング材			
	⑮ 台所排水管廻り	アスファルト液状シール材			
	⑯ 垂直避難口廻り	建築用ウレタンシーリング材			



断面図 S=1:50

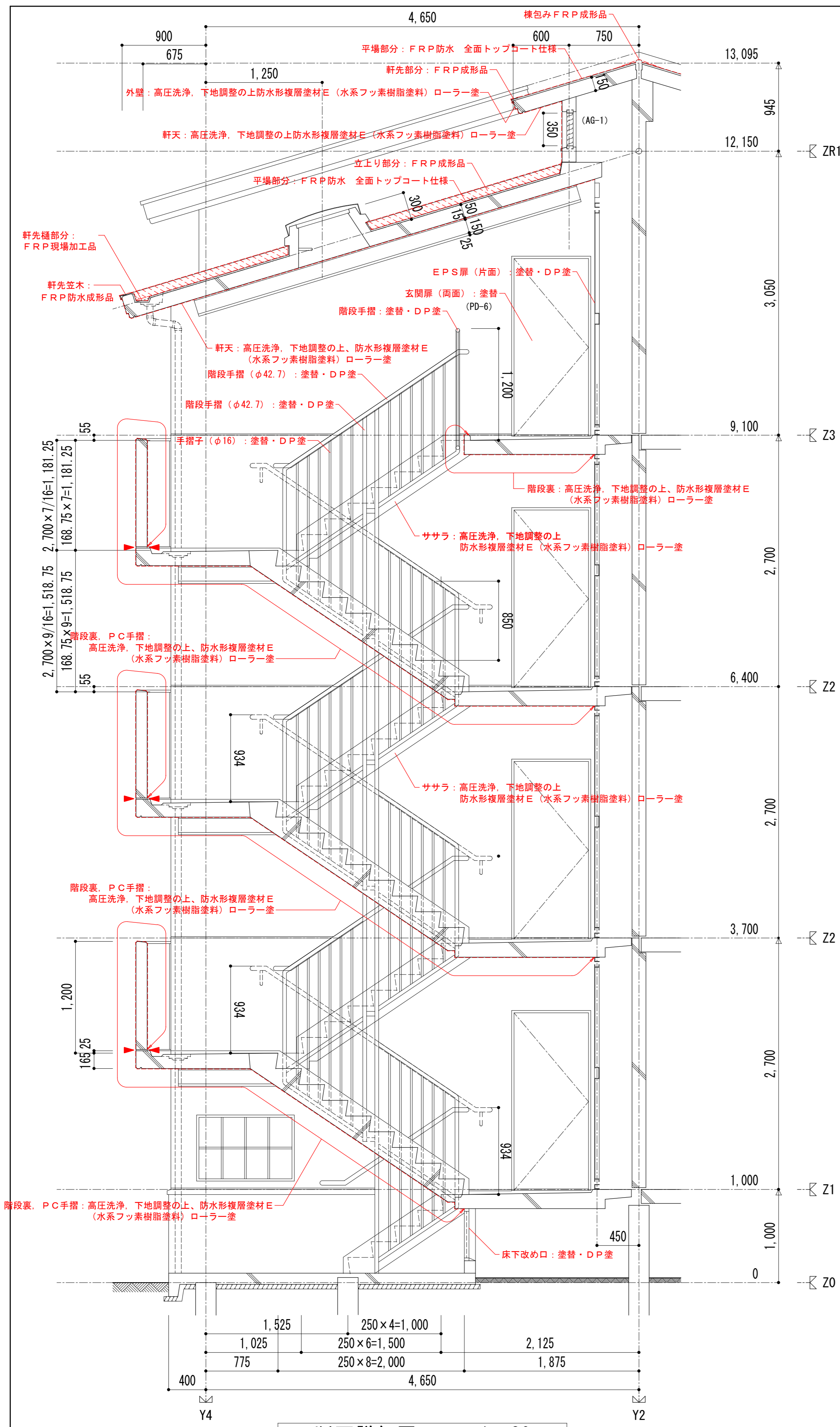
防水箇所		材料・仕様	
		既存	改修
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガasket入
	⑨ 外壁 — 応上部		建築用ウレタンシーリング材
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り		建築用ウレタンシーリング材
バルコニー	⑪ 天端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材
	⑫ 床 — 床(下部)		建築用ウレタンシーリング材
	⑬ PC手摺目地廻り		建築用ウレタンシーリング材
	⑭ アルミ手摺取付脚部廻り		建築用ウレタンシーリング材
	⑮ 台所排水管廻り		アスファルト液状シール材
	⑯ 垂直避難口廻り		建築用ウレタンシーリング材
階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑱ 壁 — 踊り床		バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	⑲ 玄関ドア下部		ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場		建築用ウレタンシーリング材
	㉑ 階段PC手摺目地廻り		建築用ウレタンシーリング材
屋根	㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材
	㉓ 屋根板 — 屋根板 接合部(下部)		建築用ウレタンシーリング材



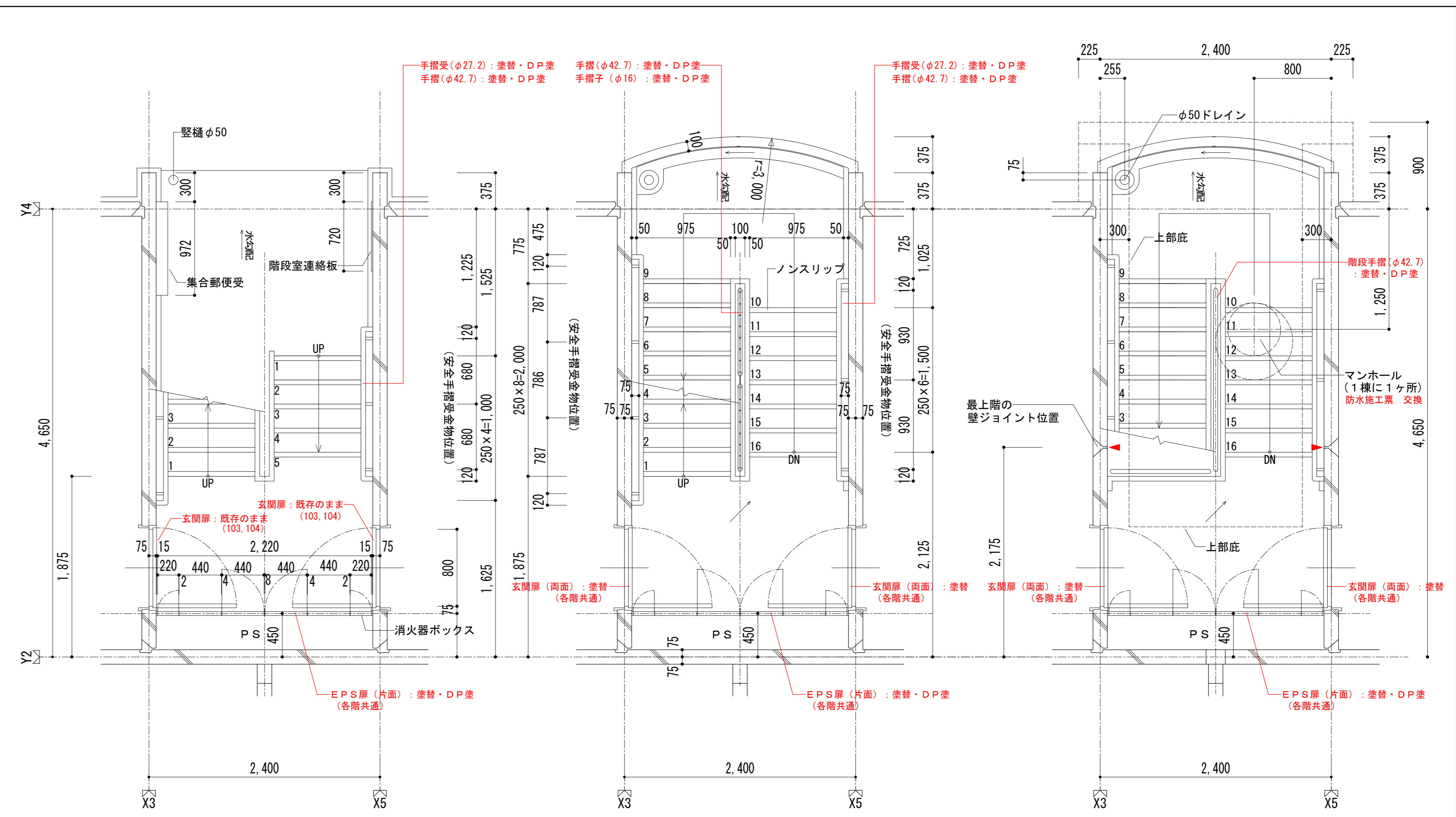
矩計図 S = 1 : 30

■ 凡例 ■
 ▲ シーリングを示す。(PU-2)

memo 一級建築士事務所 有限会社 吉田建築計画事務所 茨城県知事登録第A2710号(2807) 一級建築士 国土交通大臣登録第234744号 管理建築士 吉田良一 〒315-0001 茨城県石岡市石岡1-1-8	Yoshida architect design office tel 0299-56-3246 fax 0299-56-3248 URL http://www.iezukuri.co.jp mail info@iezukuri.co.jp	承認	設計	担当	scale S=1/60 A3 S=1/30 A1 date H29.07.18	project title H29国補 市営池の台団地(14号,15号棟)長寿命化改修工事 drawing title 14号棟 矩計図	No. A-12
		吉田					



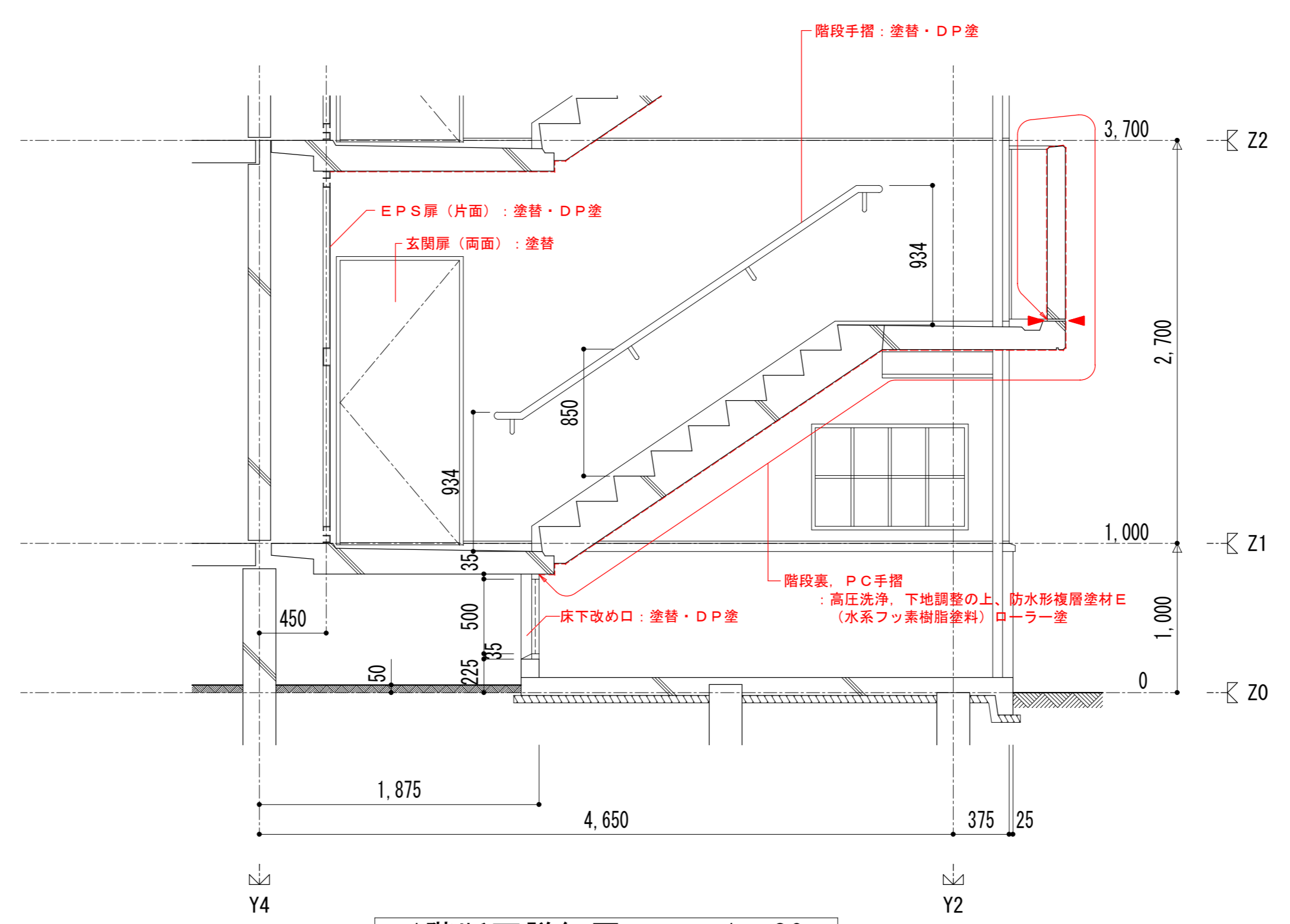
断面詳細図 S=1:30



1階平面詳細図 S=1:30

2~3階平面詳細図 S=1:30

4階平面詳細図 S=1:30

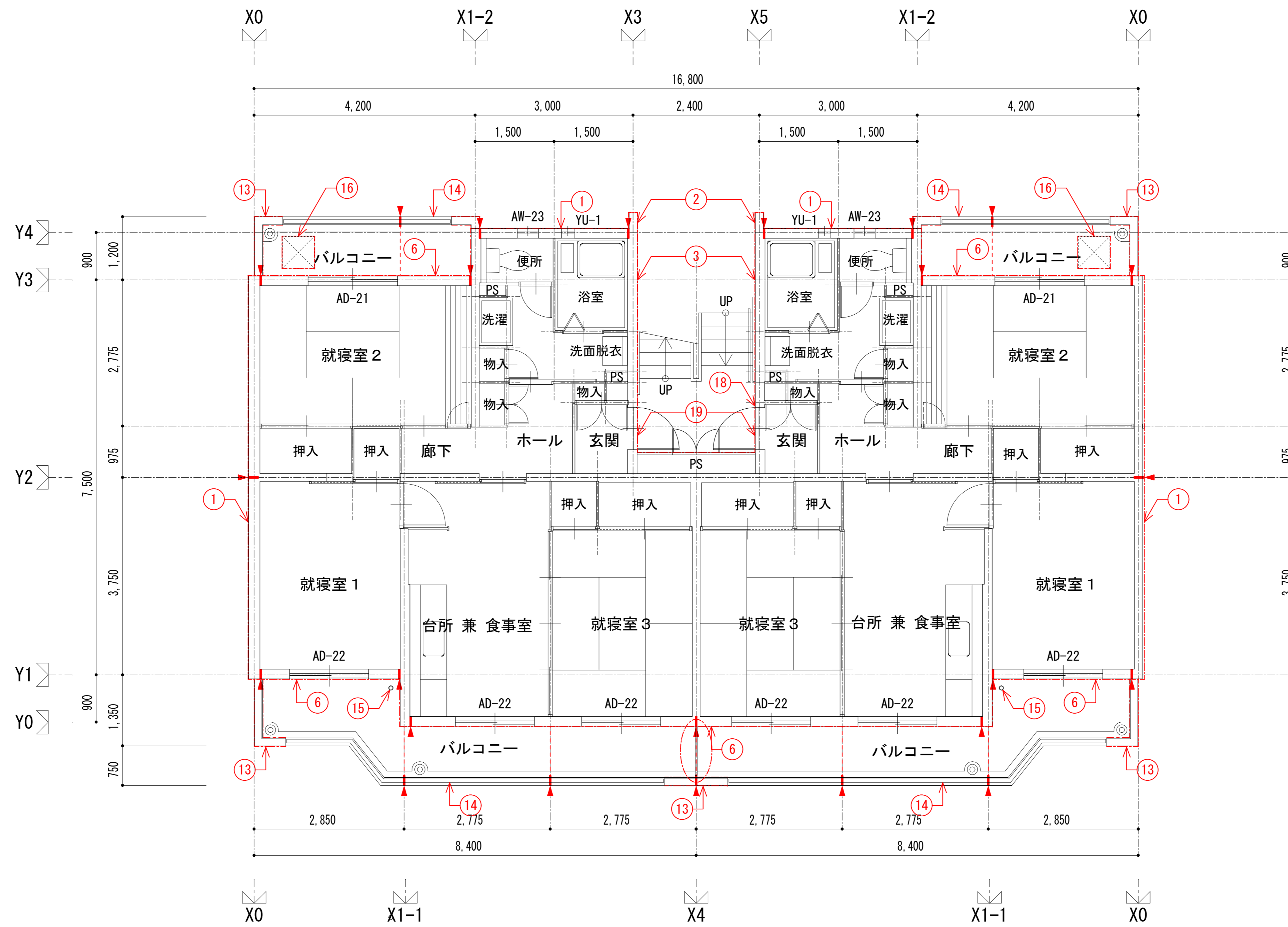


1階断面詳細図 S=1:30

■ 凡例 ■
 ▲ シーリングを示す。(PU-2)

※14号棟103、104号室玄関扉は既存のままとする

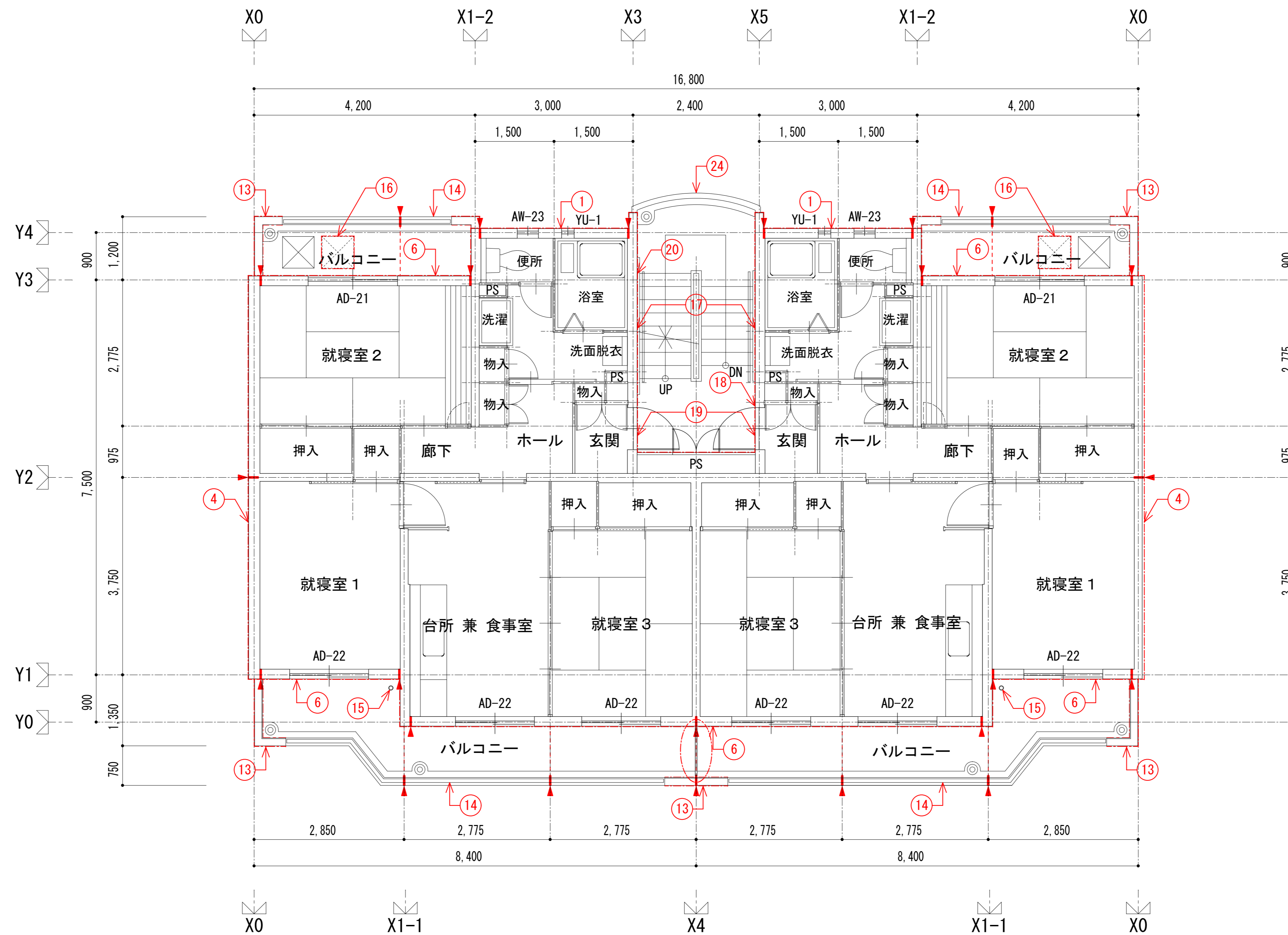
■ memo 一級建築士事務所 有限会社 吉田建築計画事務所 茨城県知事登録第A2710号(2807) 一級建築士 国土交通大臣登録第234744号 管理建築士 吉田良一 〒315-0001 茨城県石岡市石岡1-1-8	Yoshida architect design office tel 0299-56-3246 fax 0299-56-3248 URL http://www.iezukuri.co.jp mail info@iezukuri.co.jp	承認	設計	担当	■ scale S=1/60 A3 S=1/30 A1	■ project title H29国補 市営池の台団地(14号,15号棟)長寿命化改修工事	No. A-13
		吉田			■ date H29.07.18	■ drawing title 14号棟 階段詳細図	



1階平面図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様					
	既存	改修		既存	改修				
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	階段室 屋根	⑬ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑭ 壁 — 隅張床	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑮ 玄関ドア下部	ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	
	④ 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		⑯ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間隅張	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		⑰ 階段P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	
	⑥ 外壁 — 外壁(階段部)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10		⑱ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	
	⑦ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑳ 屋根版 軒先及びケラバ先端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	
	⑧ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		㉑ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	
	⑨ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10					
	⑩ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10					
	⑪ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10					
	バルコニー	⑫ 天端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10					
		⑬ 床 — 床(下部)	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10					
		⑭ P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10					
		⑮ アルミ手摺取付脚廻り	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10					
		⑯ 台所排水管廻り	アスファルト液状シール材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10					
⑰ 垂直避難口廻り	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10							

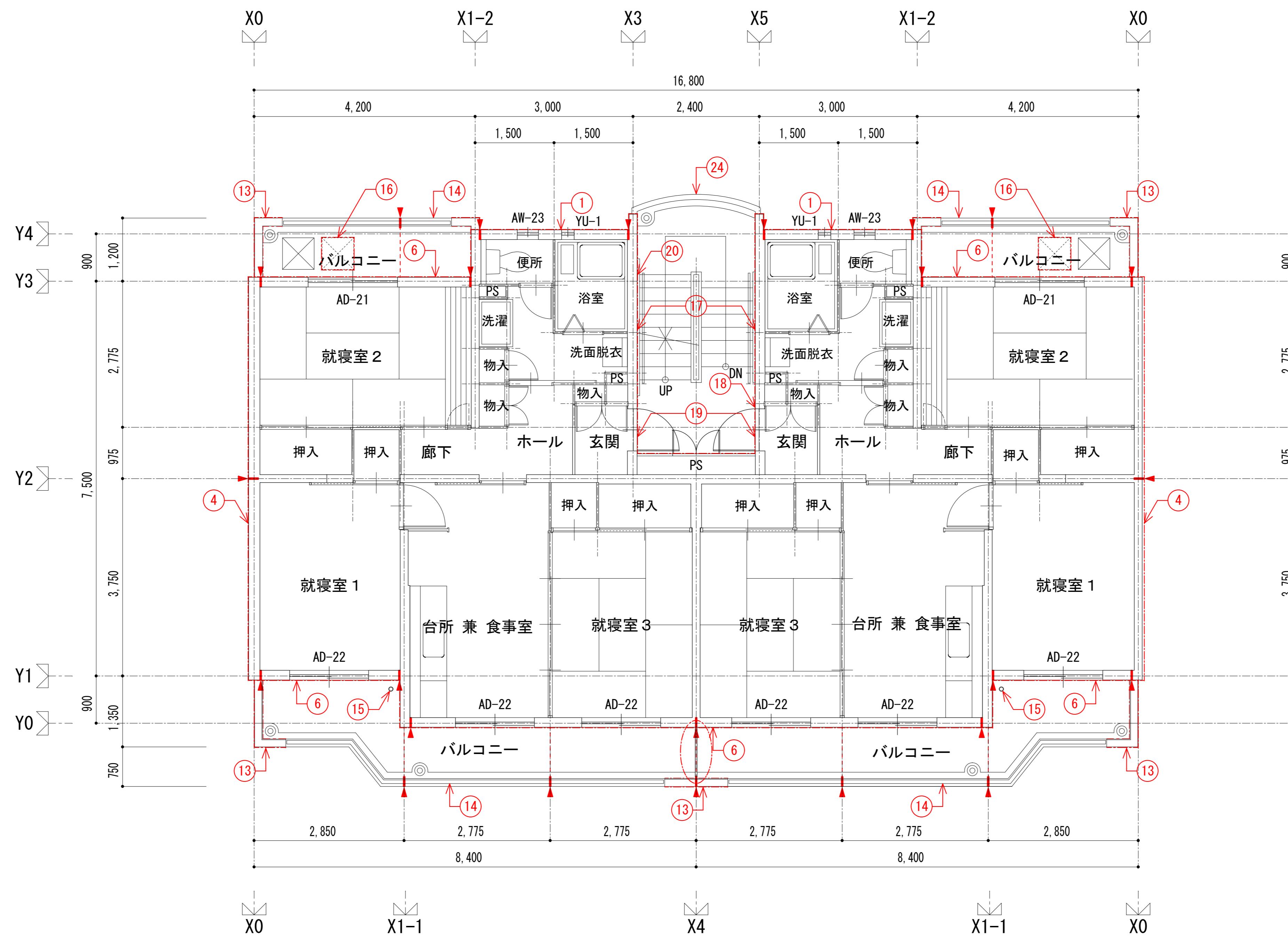
- 凡例 ■
- P Cジョイント部を示す。(外壁)
 - - - - - P Cジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
 - ベランダ隔て板：下地処理の上から樹脂塗装2回塗り 両面
注意ステッカー貼 両面



2階平面図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様		
	既存	改修		既存	改修	
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑱ 壁 — 隅張床	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑲ 玄関ドア下部	ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	
	④ 外壁 — 外壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場	建築用ウレタンシーリング材	
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉑ 階段P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材	
	⑥ 外壁 — 外壁(バルコニー床上部)	横目地 テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材	
	⑦ 外壁 — 外壁(バルコニー床下部・屋根下部)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)	建築用ウレタンシーリング材	
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入				
	⑨ 外壁 — 庇上部	建築用ウレタンシーリング材				
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材				
	バルコニー	⑪ 天端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材		
		⑫ 床 — 床(下部)		建築用ウレタンシーリング材		
		⑬ P C手摺目地廻り		建築用ウレタンシーリング材		
		⑭ アルミ手摺取付脚廻り		建築用ウレタンシーリング材		
		⑮ 台所排水管廻り		アスファルト液状シール材		
		⑯ 垂直避難口廻り		建築用ウレタンシーリング材		

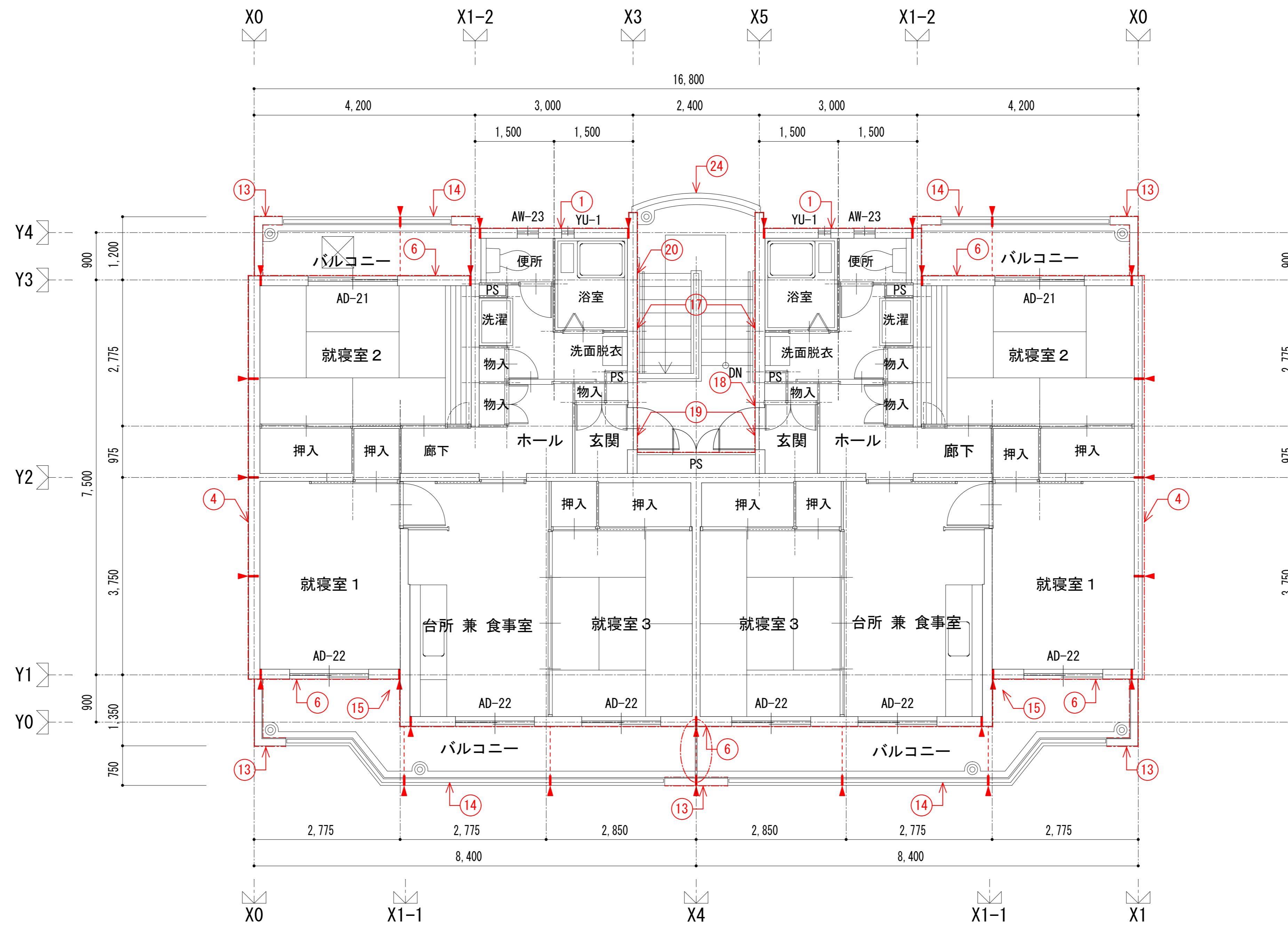
- 凡例 ■
- P Cジョイント部を示す。(外壁)
 - - - - - P Cジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
 - ベランダ隔て板：下地処理の上から樹脂塗装2回塗り 両面
注意ステッカー貼 両面



3階平面図 S=1:50

	防水箇所		材料・仕様			防水箇所		材料・仕様	
	既存	改修	既存	改修		既存	改修	既存	改修
外壁	①	外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑬	壁 — 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	②	外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑭	壁 — 隅張床	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③	外壁 — 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑮	玄関ドア下部		ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	④	外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑯	壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場		建築用ウレタンシーリング材
	⑤	外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑰	階段P C手摺目地廻り		建築用ウレタンシーリング材
	⑥	外壁 — 外壁(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		⑱	屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材
	⑦	外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		⑲	屋根版 — 屋根版 接合部(下部)		建築用ウレタンシーリング材
	⑧	外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材					
	⑨	外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入					
	⑩	外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材					
バルコニー	⑪	外壁 — 応上部	建築用ウレタンシーリング材						
	⑫	外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材						
	⑬	天井立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材						
	⑭	床 — 床(下部)	建築用ウレタンシーリング材						
	⑮	P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材						
	⑯	アルミ手摺取付脚廻り	建築用ウレタンシーリング材						
	⑰	台所排水管廻り	アスファルト液状シール材						
	⑱	垂直避難口廻り	建築用ウレタンシーリング材						

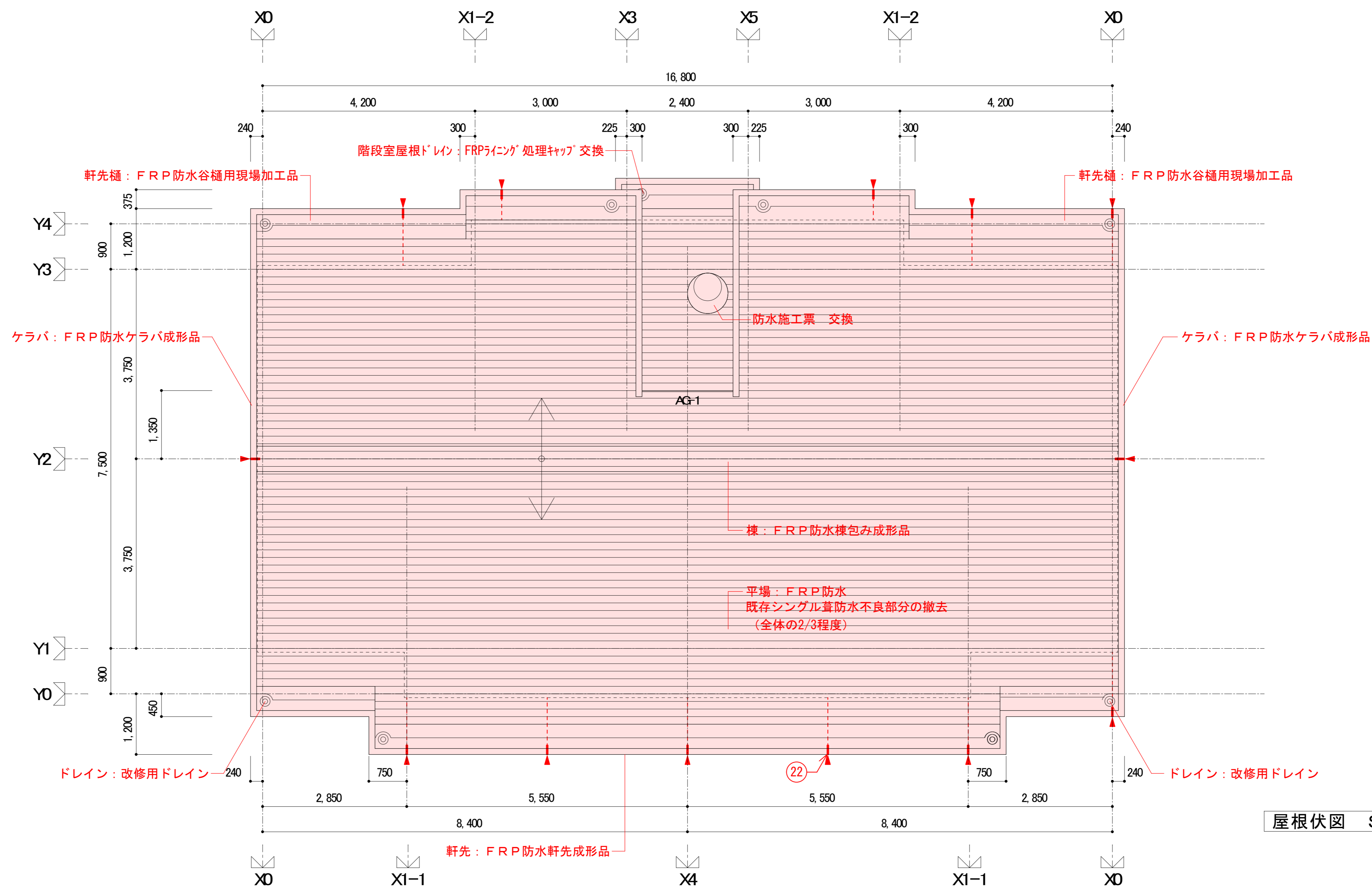
- 凡例 ■
- PCジョイント部を示す。(外壁)
 - PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
 - ベランダ隔て板：下地処理の上から樹脂塗装2回塗り 両面 注意ステッカー貼 両面



4階平面図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様	
	既存	改修		既存	改修
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑱ 壁 — 隅張床	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑲ 玄関ドア下部	ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 — 外壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場	建築用ウレタンシーリング材
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉑ 階段P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 外壁 — 外壁(階段上部)	横目地 テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)	建築用ウレタンシーリング材
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入			
	⑨ 外壁 — 庇上部	建築用ウレタンシーリング材			
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	建築用ウレタンシーリング材			
バルコニー	⑪ 天端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材			
	⑫ 床 — 床(下部)	建築用ウレタンシーリング材			
	⑬ P C手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材			
	⑭ アルミ手摺取付脚廻り	建築用ウレタンシーリング材			
	⑮ 台所排水管廻り	アスファルト液状シール材			
	⑯ 垂直避難口廻り	建築用ウレタンシーリング材			

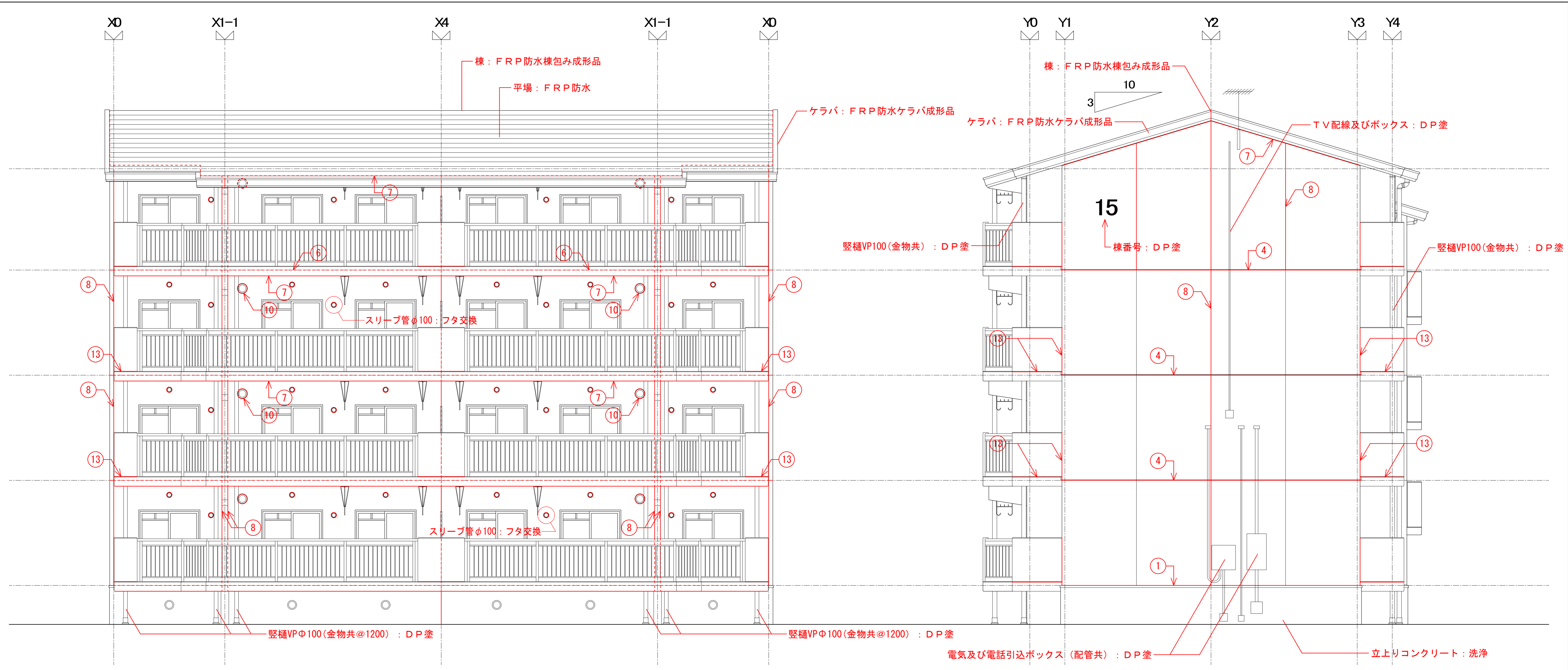
- 凡例 ■
- P Cジョイント部を示す。(外壁)
 - - - - - P Cジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
 - ベランダ隔て板：下地処理の上から樹脂塗装2回塗り 両面 注意ステッカー貼 両面



屋根伏図 S=1:50

防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様	
	既存	改修		既存	改修
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	階段室	⑰ 壁 — 壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	② 外壁 — 基礎 (階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑱ 壁 — 隅床	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材
	③ 外壁 — 基礎 (階段部)	横目地 テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑲ 玄関ドア下部	グラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材
	④ 外壁 — 外壁	横目地 テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		⑳ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間隅床	建築用ウレタンシーリング材
	⑤ 外壁 — 外壁 (階段袖壁)	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉑ 階段PC手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地 テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材		㉒ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材		㉓ 屋根版 — 屋根版 接合部 (下部)	建築用ウレタンシーリング材
	⑧ 外壁 — バルコニー床下部	横目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材			
	⑨ 外壁 — 外壁	縦目地 バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入			
	⑩ 外壁 — 外壁	建築用ウレタンシーリング材			
バルコニー	⑪ 天端立上り接合部	建築用ウレタンシーリング材			
	⑫ 床 — 床 (下部)	建築用ウレタンシーリング材			
	⑬ PC手摺目地廻り	建築用ウレタンシーリング材			
	⑭ アルミ手摺取付脚廻り	建築用ウレタンシーリング材			
	⑮ 台所排水管廻り	アスファルト液状シール材			
	⑯ 垂直避難口廻り	建築用ウレタンシーリング材			

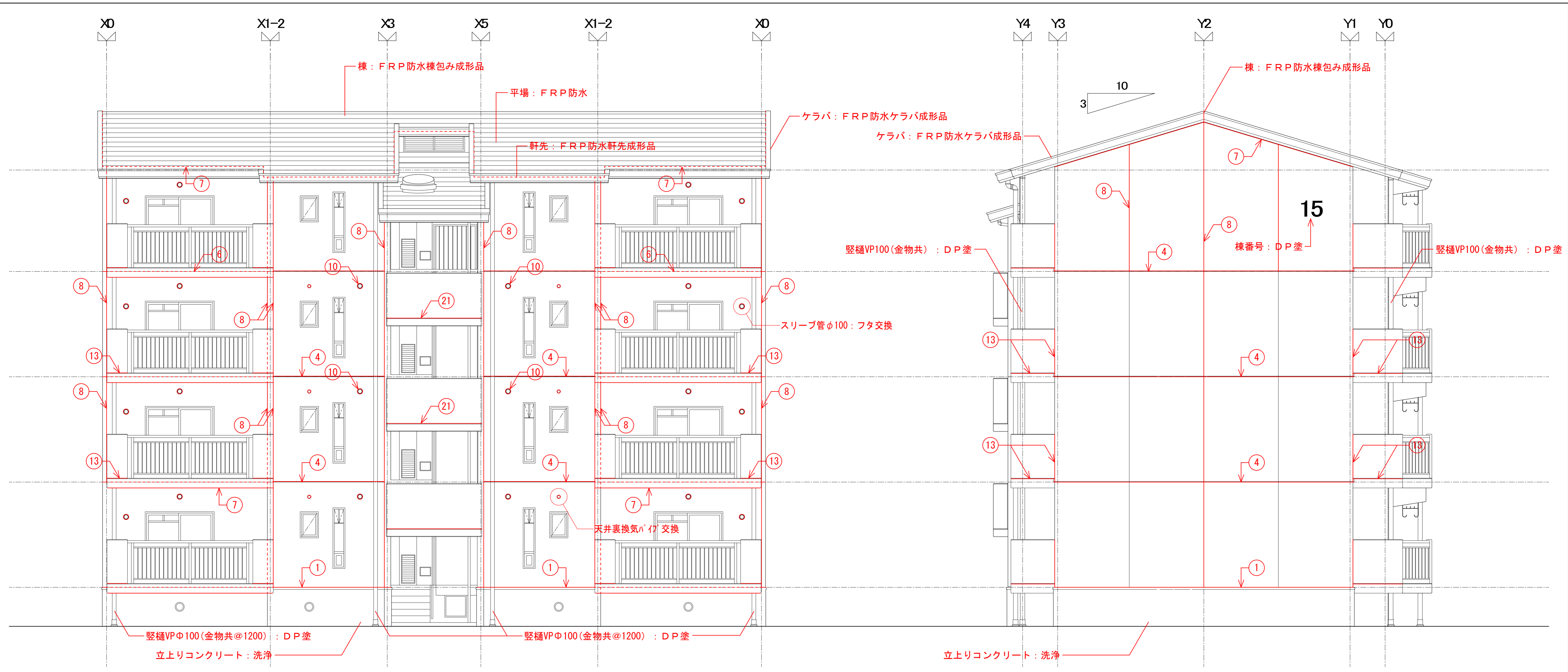
- 凡例 ■
- PCジョイント部を示す。(外壁)
 - - - PCジョイント部を示す。(バルコニー及び屋根版)
 - ベランダ隔て板: 下地処理の上から樹脂塗装2回塗り 両面 注意ステッカー貼 両面



南側立面図 S=1:50

東側立面図 S=1:50

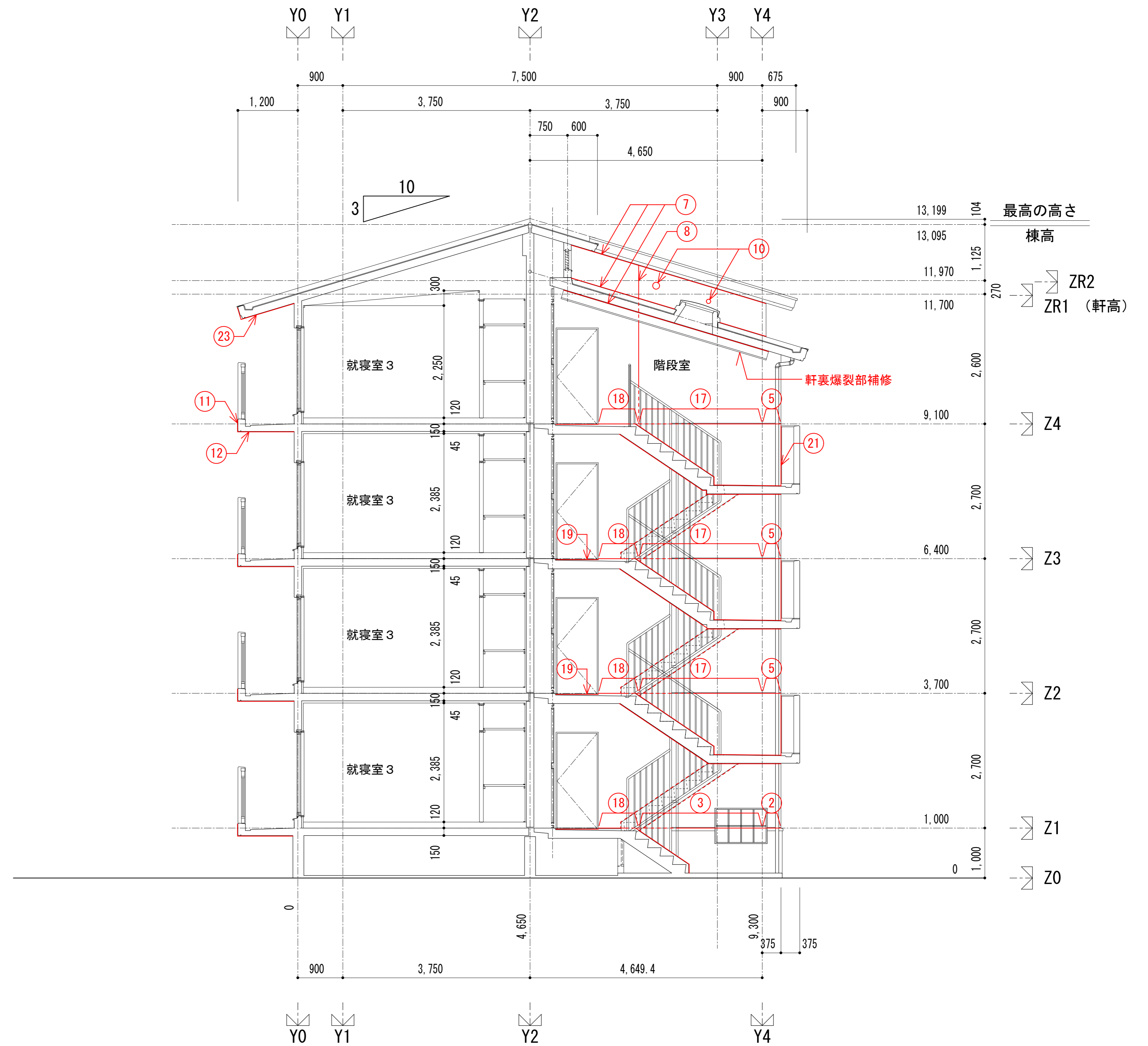
防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様						
	既存	改修		既存	改修					
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	階段室 屋根	⑬ 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑭ 壁 — 隅場床	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		⑮ 玄関ドア下部	横目地	グラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	
	④ 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		⑯ 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間隅場	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10	
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		⑰ 階段PC手摺目地廻り	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10	
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10		⑱ 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		⑳ 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10						
	⑨ 外壁 — 庇上部	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10						
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10						
	バルコニー	⑪ 天端立上り接合部	縦目地	建築用ウレタンシーリング材		既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10				
		⑫ 床 — 床(下部)	縦目地	建築用ウレタンシーリング材		既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10				
		⑬ PC手摺目地廻り	縦目地	建築用ウレタンシーリング材		既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10				
		⑭ アルミ手摺取付脚廻り	縦目地	建築用ウレタンシーリング材		既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10				
		⑮ 台所排水廻り	縦目地	アスファルト液状シール材		既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10				
		⑯ 垂直避難口廻り	縦目地	建築用ウレタンシーリング材		既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10				



北側立面図 S = 1 : 50

西側立面図 S = 1 : 50

防水箇所	材料・仕様		防水箇所	材料・仕様					
	既存	改修		既存	改修				
外壁	① 外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10	階段室 屋根	①7 壁 — 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	② 外壁 — 基礎(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		①8 壁 — 頭場床	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	③ 外壁 — 基礎(階段部)	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10		①9 玄関ドア下部	横目地	ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	④ 外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		②0 壁 — 階段ササラ 上・下部、中間頭場	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑤ 外壁 — 外壁(階段袖壁)	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10		②1 階段P C 手摺目地廻り	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥ 外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10		②2 屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	⑦ 外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10		②3 屋根版 — 屋根版 接合部(下部)	横目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	⑧ 外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10					
	⑨ 外壁 — 応上部	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10					
	⑩ 外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10					
バルコニー	⑪ 天端立上り接合部	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10					
	⑫ 床 — 床(下部)	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10					
	⑬ P C 手摺目地廻り	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10					
	⑭ アルミ手摺取付脚部廻り	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10					
	⑮ 台所排水管廻り	縦目地	アスファルト液状シール材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10					
	⑯ 垂直排水口廻り	縦目地	建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10					



断面図 S = 1 : 50

防水箇所			材料・仕様		
			既存	改修	
外 壁	①	外壁 — 基礎	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	②	外壁 — 基礎（階段袖壁）	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	③	外壁 — 基礎（階段部）	横目地	テープ状シール材25×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	④	外壁 — 外壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑤	外壁 — 外壁（階段袖壁）	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑥	外壁 — バルコニー床上部	横目地	テープ状シール材25×25の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10
	⑦	外壁 — バルコニー床下部・屋根下部	横目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑧	外壁 — 外壁	縦目地	バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材 ガスケット入	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑨	外壁 — 応上部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・25×10
	⑩	外壁 — 台所排水、換気・設備機器スリーブ廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
バルコニー	⑪	天端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑫	床 — 床（下部）		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	⑬	P C手摺目地廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	⑭	アルミ手摺取付脚部廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑮	台所排水管廻り		アスファルト液状シール材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑯	垂直避難口廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
階段室	⑰	壁 — 壁	横目地	テープ状シール材20×25、バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
	⑱	壁 — 踊り床		バックアップ材の上建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	⑲	玄関ドア下部		ガラスシート巾200mm貼 建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	⑳	壁 — 階段ササラ 上・下部、中間踊場		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・10×10
	㉑	階段P C手摺目地廻り		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・15×10
屋根	㉒	屋根 軒先及びケラバ先端立上り接合部		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10
	㉓	屋根板 — 屋根板 接合部（下部）		建築用ウレタンシーリング材	既存シーリング撤去 新設シーリング PU-2・20×10

■memo

一級建築士事務所 有限会社 吉田建築計画事務所
 茨城県知事登録第A2710号(2807)
 一級建築士 国土交通大臣登録第234744号
 管理建築士 吉田良一 〒315-0001 茨城県石岡市石岡1-1-8

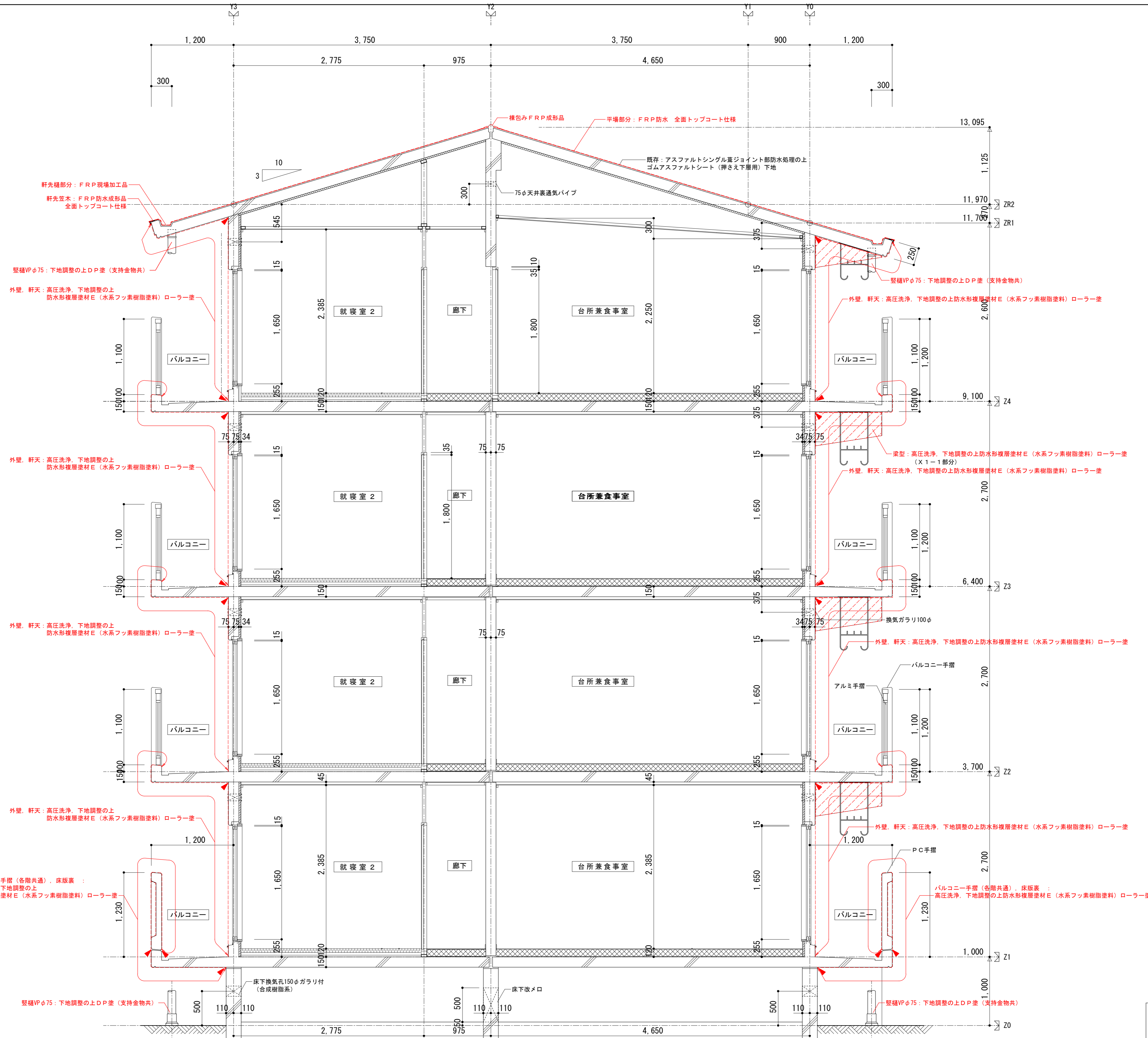
Yoshida architect design office
 tel 0299-56-3246 fax 0299-56-3248
 URL http://www.iezukuri.co.jp
 mail info@iezukuri.co.jp

承認 設計 担当
 吉田

■scale
 S=1/100 A3
 S=1/50 A1
 ■date
 H29.07.18

■project title
 H29国補 市営池の台団地(14号,15号棟)長寿命化改修工事
 ■drawing title
 15号棟 断面図

No. A-21



矩計図 S = 1 : 30

memo

一級建築士事務所 有限会社 吉田建築計画事務所
 茨城県知事登録第A2710号(2807)
 一級建築士 国土交通大臣登録第234744号
 管理建築士 吉田良一 〒315-0001 茨城県石岡市石岡1-1-8

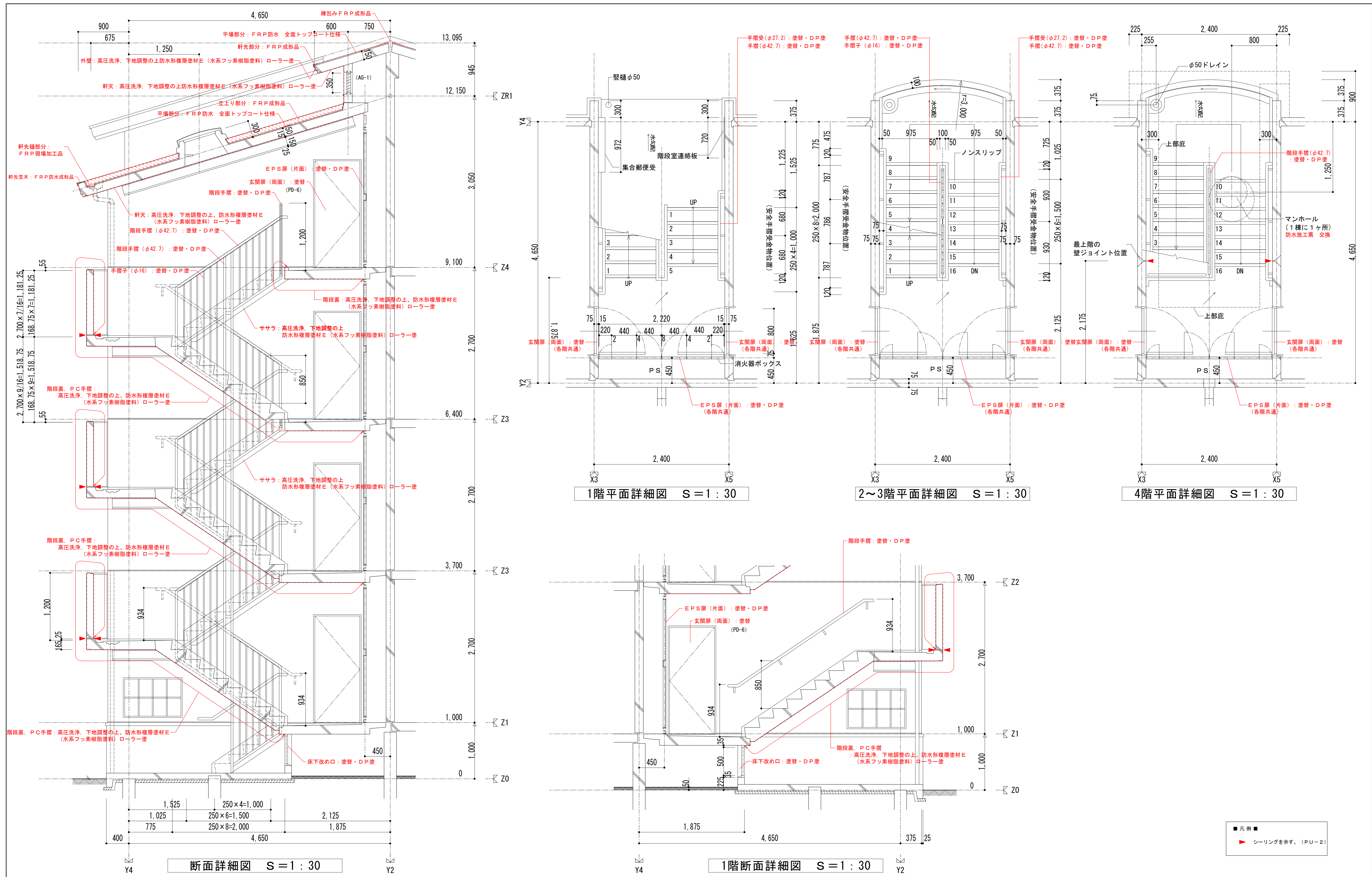
Yoshida architect design office
 tel 0299-56-3246 fax 0299-56-3248
 URL http://www.iezukuri.co.jp
 mail info@iezukuri.co.jp

承認 設計 担当
 吉田

scale S=1/60 A3
 S=1/30 A1
 date H29.07.18

project title H29国補 市営池の台団地(14号,15号棟)長寿命化改修工事
 drawing title 15号棟 矩計図

No. A-22



memo
 一級建築士事務所 有限会社 吉田建築計画事務所
 茨城県知事登録第A2710号(2807)
 一級建築士 国土交通大臣登録第234744号
 管理建築士 吉田良一 〒315-0001 茨城県石岡市石岡1-1-8

Yoshida architect design office
 tel 0299-56-3246 fax 0299-56-3248
 URL http://www.iezukuri.co.jp
 mail info@iezukuri.co.jp

承認	設計	担当
	吉田	

scale
 S=1/60 A3
 S=1/30 A1

date
 H29.07.18

project title
 H29国補 市営池の台団地(14号,15号棟)長寿命化改修工事

drawing title
 15号棟 階段詳細図

No.
 A-23